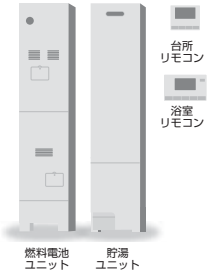
TOKYO GAS

取扱説明書

ENE・FARM エネファーム

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム



■ 燃料電池ユニット
停電時発電継続機能付き
品名（形式） NA-0715ARS-KB
NA-0715ARS-KTB
（FC-70ER13）
停電時発電継続機能なし
品名（形式） NA-0715ARS-K
NA-0715ARS-KT
（FC-70ER23）

■ 貯湯ユニット
品名（型式） NAFT-C15ARSAWC
（SF-GTHC2404AD）

■ 台所・浴室リモコンセット
品名 NAMR15ABDE2IMSV

保証書別添付

- 本製品は、上記の燃料電池ユニット・貯湯ユニット、およびリモコン以外の組み合わせでは使用できません。
- この取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
特に、この取扱説明書の「安全上のご注意」（P.8～13）、および接続する機器（ふろ・暖房機器・太陽光発電システム・蓄電池システム・停電時発電機能オプションなど）の取扱説明書に記載された「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに、大切に保管してください。

SBB80FP

取扱説明書	NA−0715ARS−KB/ NA−0715ARS−KTB NA−0715ARS−K/ NA−0715ARS−KT NAFT−C15ARSAWC				01

II—1

レベルB

エネルギーを
つかう家から、つくる家へ。

これからの家づくり。
暮らしに合わせて、自宅で電気を自給自足。
さぁ、エネファームで、環境にやさしい暮らしをはじめましょう!

ガスから、電気と熱(お湯)を
同時につくる!

エネファーム

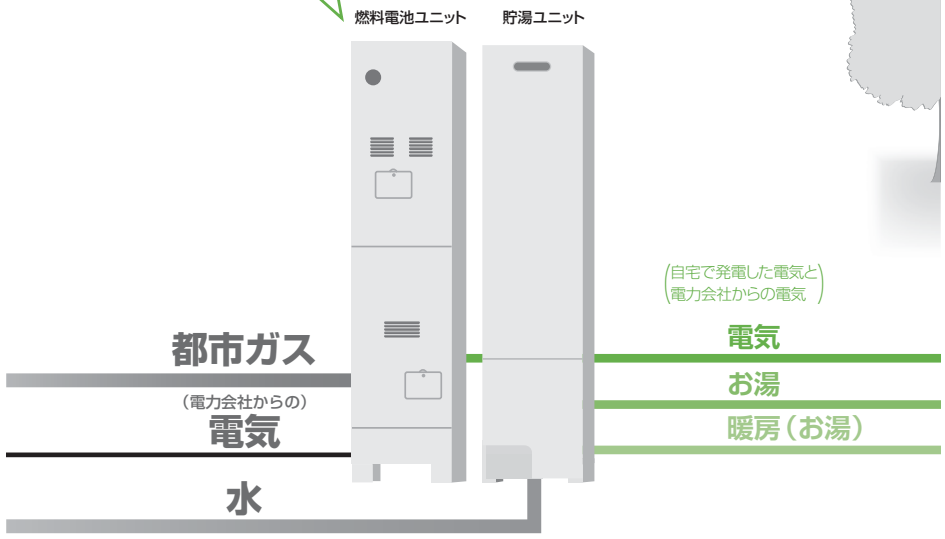
ご家庭の生活パターンを学習して、
最も省エネになる時間帯を予測して
発電と貯湯を行います。

停電時発電継続機能(P.52〜57)や
停電時発電機能オプション(別売品)など※1を使えば

停電時にも電気とお湯を使うことができる※2!

※1 創蓄連携用接続ユニット(品番:FC-BSC1S)、
発電継続用切替ユニット(品番:FC-BSD3S)、
自立起動用電源ユニット(品番:FC-BSD1S)
+自立起動用切替ユニット(品番:FC-BSD2S)
ただし、停電時発電継続機能付きの場合は、
発電継続用切替ユニットは使用できません。

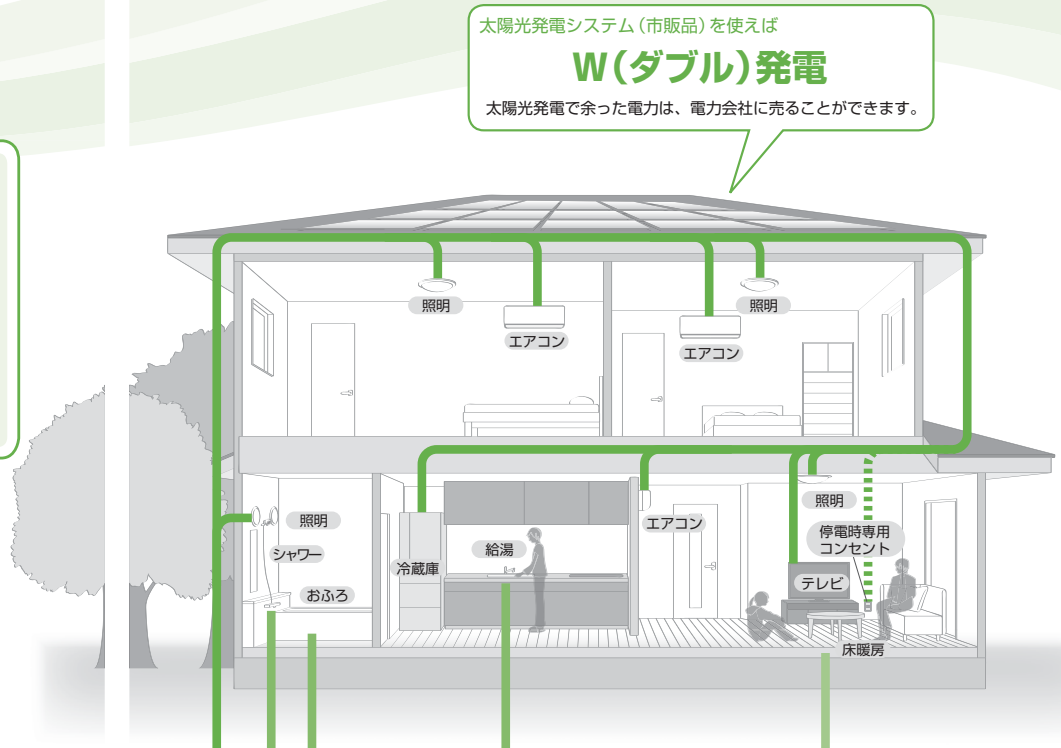
※2 使用できる条件がありますので、事前にご確認
ください。



太陽光発電システム(市販品)を使えば

W(ダブル)発電

太陽光発電で余った電力は、電力会社に売ることができます。



イラストはイメージ図です。

もくじ

はじめに

エネファームについて …… 6
安全上のご注意 …… 8
使用上のお願い …… 14
各部の名前 …… 16
電源を「切」／「入」する …… 20
はじめて使うとき …… 22

お湯・おふろ

お湯を使う …… 24
お湯をはる …… 26
　予約する …… 28
　ふろ温度・湯量を変更する …… 29
追いだきする …… 30
お湯をたす …… 31
水をたす …… 31
マイクロバブル浴をする …… 32
通話する …… 34
　浴室の様子を聞く／聞かれないようにする … 35

暖房

浴室暖房する …… 36
　予約する …… 37
暖房する …… 38
　予約する …… 40

発電

発電について …… 42
発電する …… 48
　発電禁止時刻を設定する …… 50
停電時の発電について …… 52
停電時に発電する …… 54

エネルック

今日の実績/エネルックについて …… 58
今日の実績を見る …… 60
エネルックで見る …… 62
エネルックの設定を変える …… 66

設定を変える

設定メニュー一覧 …… 68
ふろの設定を変える …… 70
リモコンの設定を変える …… 72
その他の設定を変える …… 74

こんなとき

定期メンテナンス、総点検停止と
　動作停止について …… 76
お手入れする …… 77
点検する …… 78
凍結を防ぐ …… 79
凍結を防ぐ (水抜き) …… 80
水抜き後、再使用するとき (水はり) …… 82
長期間使わないとき …… 84
停電/断水/ガス停止のとき …… 85
災害のとき …… 86

困ったとき

故障かな? …… 88
こんな表示が出たら …… 100
主な仕様 …… 103
アフターサービス …… 105
用語検索 …… 106

取扱説明書
NA−0715ARS−KB/ NA−0715ARS−KTB
NA−0715ARS−K/ NA−0715ARS−KT
NAFT−C15ARSAWC
01

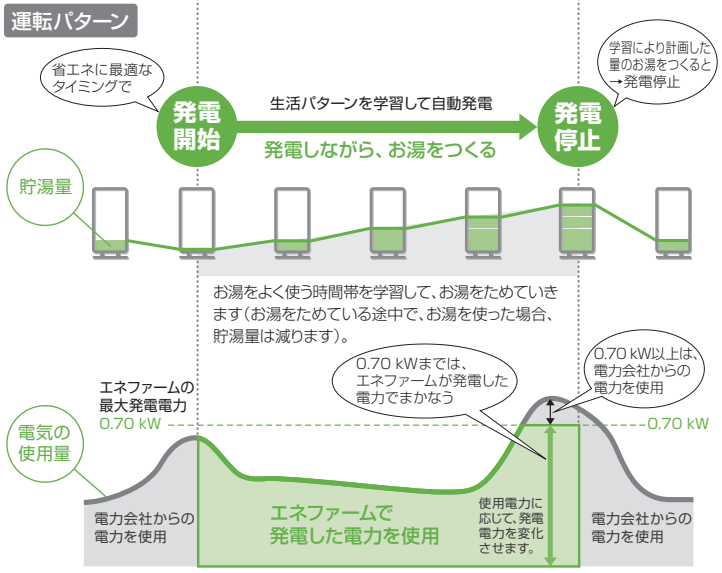
エネファームについて

1日の生活と運転パターン例
（自動発電：おまかせ）

ご家庭の生活パターンを学習して、最も省エネになるように運転します（発電は１日１回のみ）

生活パターン

運転パターン



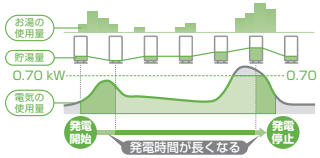
お知らせ

- 電気やお湯の使用量によって、以下のような場合があります。
  - 発電が長くなる。または、短くなる。
  - 毎日違う時間に発電する。
  - 発電しない日が続く。
  - 数日に1日発電する。
  - お湯が余ることがある。または、お湯がたりない。

生活パターンに合わせて、運転パターンが変化します

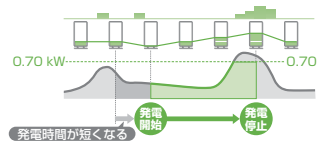
お湯の使用量が多い

お湯がたくさん必要なため、発電時間が長くなります。



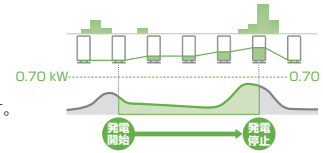
お湯の使用量が少ない

必要なお湯の量が少ないため、発電時間が短くなります。



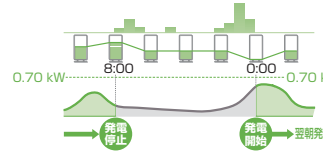
電気の使用量が少ない

発電電力も小さくなるため、お湯のたまり方がゆっくりになります。



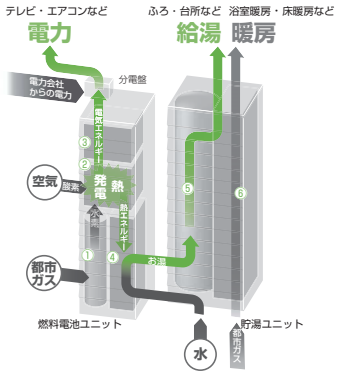
夜の電気使用量が日中よりも多い

夜中に発電を開始して、朝に発電を停止することもあります。



さらに詳しく知る！ エネファームのしくみ

エネファームは、都市ガスから作った水素を、空気中の酸素と化学反応させ、「電気エネルギー」と「熱エネルギー」を創り出しています。



① 燃料処理装置	都市ガスから水素を作ります。
② スタック	水素と空気中の酸素を反応させることで、直流の電気と熱を作ります。
③ インバーター	スタックで作った直流の電気を、家庭用の交流の電気に変換します。
④ 熱回収装置	スタックで作った熱を、お湯として回収します。
⑤ 貯湯タンク	お湯をためます。
⑥ バックアップ熱源機	貯湯タンクのお湯だけでは、給湯用のお湯がたりないときに、加熱します。床暖房など暖房用の、お湯を供給するときにも加熱します。

取扱説明書
NA-0715ARS-KB/ NA-0715ARS-KTB
NA-0715ARS-K/ NA-0715ARS-KT
NAFT-C15ARSAWC
01
レベルB

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システム、停電時発電機能オプションなど）の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

火災・一酸化炭素中毒などを防ぐために

ガス漏れに気づいたら、すぐ次のことをする

（引火による火災や爆発の原因）

① 機器の使用をやめる
② 燃料電池ユニットと貯湯ユニットのガス栓（P.16）と、マイコンメーターのガス栓を閉める
③ ガス事業者に連絡する

ガス漏れに気づいたら、次のことをしない

（引火による火災や爆発の原因）

- **■ 火をつけない**
- **■ 電気器具のスイッチを「入」「切」しない**
- **■ 電源プラグを抜き差ししない**
- **■ 周辺で電話を使用しない**

屋内に設置しない

（一酸化炭素中毒の原因）

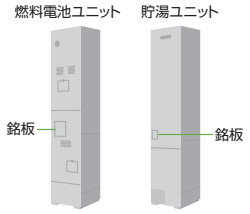
⚠ 警告

感電・火災・やけどなどを防ぐために

ご使用前に

■ アース工事がされていることを確認する
（感電の原因）
→アース工事がされていない場合や、ご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご相談ください。

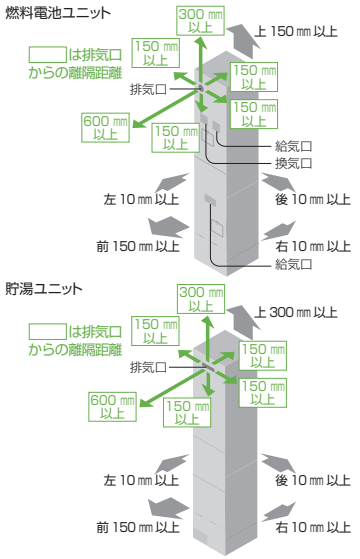
■ 銘板表示のガス種・電源を使用していることを確認する
（一酸化炭素中毒や火災、故障などの原因）



ご使用開始後は

■ 機器本体・給気口・排気口・換気口の近くに、ガス類の容器、燃えやすいもの、引火物を置かない
（発火や火災、爆発の原因）
・燃えすいものとは、右記の寸法以上を離す
→メンテナンススペースも配慮してください。ご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご相談ください。

■ 機器に無理な力を加えない
■ 機器本体や配管などの上に乗らない
（ガス漏れや不完全燃焼、けがの原因）
■ 給気口・排気口・換気口をふさがない
（火災や故障の原因）
■ 配管を触らない
（やけどや故障の原因）
■ 必要な場合以外は、パネル・カバーを外さない
■ ブレーカーカバーや水抜き栓などを開けたまま使用しない
（感電、やけど、けがの原因）



安全上のご注意

必ずお守りください

接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システム、停電時発電機能オプションなど）の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

⚠ 警告

感電・火災・やけどなどを防ぐために

電源プラグやコードは

次のことをしない
（火災や感電の原因）

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない

■電源プラグやコードを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、高温部に近づける、無理にねじ曲げる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

次のことを守る
（火災や感電の原因）

■専用のコンセントおよびブレーカーを単独で使う
■電源プラグのほこりなどは、定期的に取る
■コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む
■電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

給湯時・入浴時は

■シャワー使用時は
・使用者以外は温度を変えない
・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にしない
・リモコンの「優先」を切り替えない
（やけどや、思わぬ事故の原因）

■入浴時には、次のことをしない
・お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない
（運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをする原因）
・循環アダプターは、手足やタオルでふさいだり、体を近づけない
（熱いお湯によるやけどの原因）
・お子さまを浴室内で遊ばせない
（おぼれるなど事故の原因）

■マイクロバブル浴をするときは
・追いだき中や追いだき直後は、循環アダプターのバブル切替レバーを触らない
（やけどの原因）

■お湯はリモコン表示温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
（やけどの原因）
・高温で使った直後は、特に注意が必要です。

■混合水栓では
①先に給湯栓を止める
②シャワーと蛇口の切替レバーは定位置まで回す（やけどの原因）

■使用中に湯温が上がってきたら、すぐにお湯から離れる
（やけどの原因）
・貯湯タンクのお湯の温度が高いときに、停電したり、貯湯ユニットの電源を切ったりすると、高温のお湯が出る場合があります。
→手で湯温を確認してから、再使用してください。

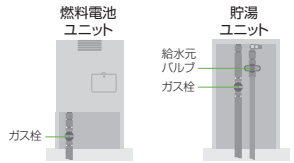
こんなときは

異常・故障時

■すぐに機器の使用を中止して、電源を切り、ガス栓を閉める
（火災や感電の原因）
異常・故障例
・運転中に焦げた臭い、異常音、煙、異常な温度を感じるなど
→すぐにお買い上げの販売店、またはガス事業者に連絡してください。

非常時

■地震・火災などの非常時は、
①リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする
②給湯栓を閉める
③すべての電源・ブレーカーを「切」にする
④ガス栓（燃料電池ユニットと貯湯ユニット）・給水元バルブ（貯湯ユニット）を閉める
（火災拡大の原因）
→ガス事業者に連絡してください。

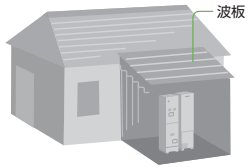


■停電中および停電復旧後は、湯温を確認してから使用する
（湯温調節ができず、熱いお湯が出たときに、やけどの原因）

■水抜き時や、貯湯タンクから水を取り出すときは、お湯に触れない
（熱いお湯が出たときに、やけどの原因）

増改築・移設時などは

■波板などで囲って屋内設置状態にしない
（一酸化炭素中毒や火災の原因）



■養生シートなどで覆って使用しない
（不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの事故の原因）

■太陽熱温水器とは接続しない
（温度制御ができなくなり、やけどや故障の原因）

■絶対に分解や改造は行わない
（感電や事故の原因）

■ガス工事、電気工事は専門の資格・技術が必要なため、必ずお買い上げの販売店、またはガス事業者に依頼する
（火災や感電、けがなどの原因）

床暖房設置時は

■床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない
（低温やけどのおそれ）
特に次のような方が使用される場合は、周りの方が注意してあげることが必要です。
・乳幼児、お年寄り、病人など自分の意思で体を動かせない方
・疲労の激しいとき、深酒したとき
・皮膚の弱い方

安全上のご注意

必ずお守りください

接続する機器(ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システム、停電時発電機能オプションなど)の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

⚠ 警告

停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合は

■浴室排水(P.56)するときは、排水栓を必ず開ける
(思わぬ事故や、おふろのお湯があふれるなどの原因)
・発電で貯湯タンクにたまったお湯を、循環アダプターより排水するため、排水栓を開けておかないと、おふろのお湯があふれる場合があります。

■停電時専用コンセントには、以下の機器を接続しない
(生命や財産に損害を及ぼす原因)
・医療用機器
・灯油などを用いた暖房機器
・バッテリーなどを搭載していないパソコンなどの情報機器
・その他、電源が切れた場合、生命や財産に損害を及ぼすおそれのある機器

■停電していないときに、停電発電を行わない(思わぬ事故などの原因)

⚠ 注意

ご使用前に

■燃料電池ユニット・リモコン・貯湯ユニットの組み合わせが正しいことを確認する(表紙)
(やけどや故障の原因)

■各ユニットのアンカーボルト固定を確認する(P.16)
(本体が転倒し、けがの原因)
→固定は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご相談ください。

■配管の保温工事を確認する
(凍結破損による、やけどや水漏れの原因)
→工事は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご依頼ください。

■排気ガスが、建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに、直接当たらないように設置されていることを確認する
(変色、塗装はがれ、ガラスの割れの原因)

■リモコンの表示日時が正しいことを確認する
(総点検停止(P.76)時期が早まる原因)

こんなときは

■貯湯タンクのお湯が、熱い状態で排水しない
(やけどや排水管などの破損の原因)
・貯湯タンクにお湯が残っている場合は、排水する目的に応じて、それぞれの手順(P.78、P.80)に従い、給湯栓を開いてお湯を出してから排水してください。

■災害時に貯湯タンクからお湯(水)を取り出すときは、熱に強い容器を使用する(P.86〜87)(やけどの原因)
・ガラス容器などは、熱により割れることがあります。

■塀などの増設時は、機器の点検・修理・メンテナンスに必要な空間を確保し、排気ガスの滞留を防ぐ
(一酸化炭素中毒などの事故や、点検・修理への支障の原因)
→お買い上げの販売店、またはガス事業者にご確認ください。

■お手入れ、水抜きは、機器が冷えてから行う(やけどの原因)

■(乾電池に関する注意)
旧機器を処理するときに、乾電池を使用している場合は、乾電池を取り外してから正規の処理を行う(思わぬ事故の原因)

⚠ 注意

ご使用開始後は

■循環アダプターの穴やバブル切替レバーのすき間に指を入れない
(思わぬ事故の原因)

■機器の近くで、スプレーや有機溶剤を使用しない
(火災、故障や性能低下の原因)

■動植物に、排気ガスを直接当てない
(動植物に悪影響を及ぼす原因)

■お子さまを機器の周囲で遊ばせない、リモコンにいたずらをさせない
(やけどや思わぬ事故の原因)

■給湯栓でお湯の流量を少なくし過ぎない
(高温になる場合があり、やけどの原因)

■飲用・調理用に使うときはそのまま飲用しない
飲用する場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてください。
・必ず水質基準に適合した水を使う
・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水として使う
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちにお買い上げの販売店、またはガス事業者に点検を依頼する

■通話中、リモコンのスピーカーに耳を近づけない
(大きな音による聴覚障害などの原因)

■ドレン配管から出る結露水を飲料用、飼育用などに使用しない
(思わぬ事故の原因)

■使用中・使用直後は、排気口・配管などの高温部に触れない

■排水や排水配管・オーバーフロー配管に触れない
(やけどの原因)

■機器の周りはきれいにしておく
(異物・ゴキブリ・昆虫などが侵入して、火災や故障の原因)

■長期間使わない場合、必要な処置をする(P.84)
(凍結やガス漏れなどの思わぬ事故の原因)

■つららの落下に注意する
(けがの原因)
・冬期は特に積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下することがあるため、排気口の下に立ち入らないでください。

■積雪時は、給気口・排気口の除雪・点検をする
(一酸化炭素中毒など事故の原因)

床暖房・パネルヒーター設置時は

■床暖房の上に電気カーペットを敷かない
(やけどなどの原因)

■床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない
(やけどや温水パイプ破損の原因)

■パネルヒーターの表面を触らない
(やけどの原因)

停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合は

■停電時専用コンセントに接続する前に、接続する電気機器の電源が「切」になっていることを確認する

■停電時専用コンセントに接続した機器は、停電復旧後、すみやかに取り外す
(思わぬ事故や故障の原因)

使用上のお願い

故障などを防ぐために

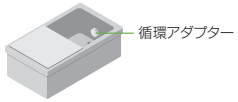
■本製品は家庭用です。業務用には使用しないでください。

■ガス事業者指定の部品や機器以外は取り付けないでください。

■発電、給湯、シャワー、ふろ、暖房以外の用途に使用しないでください。

■運転中にブレーカーなどの電源を「切」にして、停止させないでください。

■浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除し、入浴中はタオルなどでふさがないでください。



■給湯・ふろスイッチ「切」の状態で、給湯栓を開けないでください。

→水を使用する場合は、混合水栓は「水」の位置で使用してください。

・配管に冷水が流れると、機器内で結露するなど機器の寿命を短くします。ただし、凍結予防のために、給湯栓から水を流す場合は、この限りではありません。

■温泉水、井戸水、地下水、人工炭酸泉装置などの水は使わないでください。

■入浴剤や洗剤などについて

・硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください(熱交換器の腐食や故障の原因)。異常に気づいたときは、すぐに使用をやめてください。

・泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりおふろを沸かすことができません。

・塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください(思わぬ事故や故障の原因)。

・入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

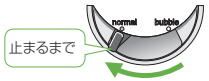
■24時間風呂を設置・使用しないでください。

■燃料電池ユニットより1.5 m以内で、油性塗料を用いた塗装の最中と乾燥中の場合、塗装後3時間以上経過して発電を開始してください。
(機器が正常にはたらかないおそれ)

■使用時の点火、使用後の消火を確認してください(貯湯ユニットのバックアップ熱源機部)。
(ガス事故防止のため)

マイクロバブルをご使用の場合は

■マイクロバブル浴をしないときは、必ず循環アダプターのバブル切替レバーを、「normal」(左)側にしてください。



マイクロバブル浴以外のときに、「bubble」(右)側で使用しても、機器が故障することはありませんが、以下のような現象が生じる場合があります。

・「温浴」を開始していないのに、ふろ運転や凍結予防のため、ポンプが作動したときも気泡が出る。

・ふろ自動や追いだきに時間がかかる。

・追いだきのとき、設定温度まで上がらない。

・ふろ自動のとき、循環アダプターから音がする。

■バブル切替レバーは、確実にレバーが止まる位置まで動かしてください(途中の位置で止めない)。
気泡が出なかったり、正常におふろ沸かしや追いだきができない場合があります。

■循環アダプターの穴やバブル切替レバーのすき間に、物を入れたりタオルなどで、ふさいだりしないでください。
おふろ沸かしやマイクロバブル浴ができません。
(機器の故障の原因)

お手入れのときは

■浴槽・洗面台はこまめに掃除してください。
(湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色する原因)

■リモコンの掃除に、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などは、使用しないでください。
(変形のおそれ)

設置場所は

■ラジオとは、1.5 m以上離してください。
(雑音の原因)

■車などの排気ガス出口から、1 m以上(バイクは3 m以上)離してください。
(性能低下や故障の原因)

リモコンは

■台所・増設リモコン

・0℃～40℃の室温で使用してください。

・水や蒸気がかからないようにしてください。

・上下左右に15 cm以上の空間を確保してください(マイクに入る音が遮られ音が拾えず、通話が途切れる原因)。

■浴室リモコン

・0℃～50℃の室温で使用してください。

・ドライサウナ内に設置しないでください。

・水、シャンプー、リンス、入浴剤などを故意にかけないでください。

定期メンテナンスは

■定期メンテナンスを行わないと、燃料電池ユニットは運転を停止します(P.76)。

太陽光発電や蓄電池と併設するときは

■太陽光発電システムや蓄電池システム(停電対応システム)を併設する場合、取り扱いについて、それぞれの取扱説明書をご確認いただき、お問い合わせは、それぞれの設置・販売業者にご連絡ください。

■太陽光発電システムや蓄電池システムを追加で設置する場合、工事を正しく行わないと、燃料電池ユニットが正常に動作しないことがあります。それぞれの設置、販売業者に燃料電池ユニットを含めた電気設備全体の事前検討を行うように依頼してください。

●太陽光発電システムを併設する場合

・太陽光発電の電力を本システムのリモコンに表示させたい場合は、太陽光電流センサーセット(別売品)を取り付け、W発電表示設定を「入」にしてください(P.74～75)。

・太陽光発電ブレーカーは、主幹ブレーカーより系統電力側に接続してください。

●蓄電池システムを併設する場合

・蓄電池を接続することで、停電時にエネファームの発電を継続させる場合、蓄電池の出力電圧によっては、停電時に発電しないことがあります。

・電流センサーの取り付け位置によっては、停電時に発電しないことや、エネファームの発電電力が有効に活用できなくなります。

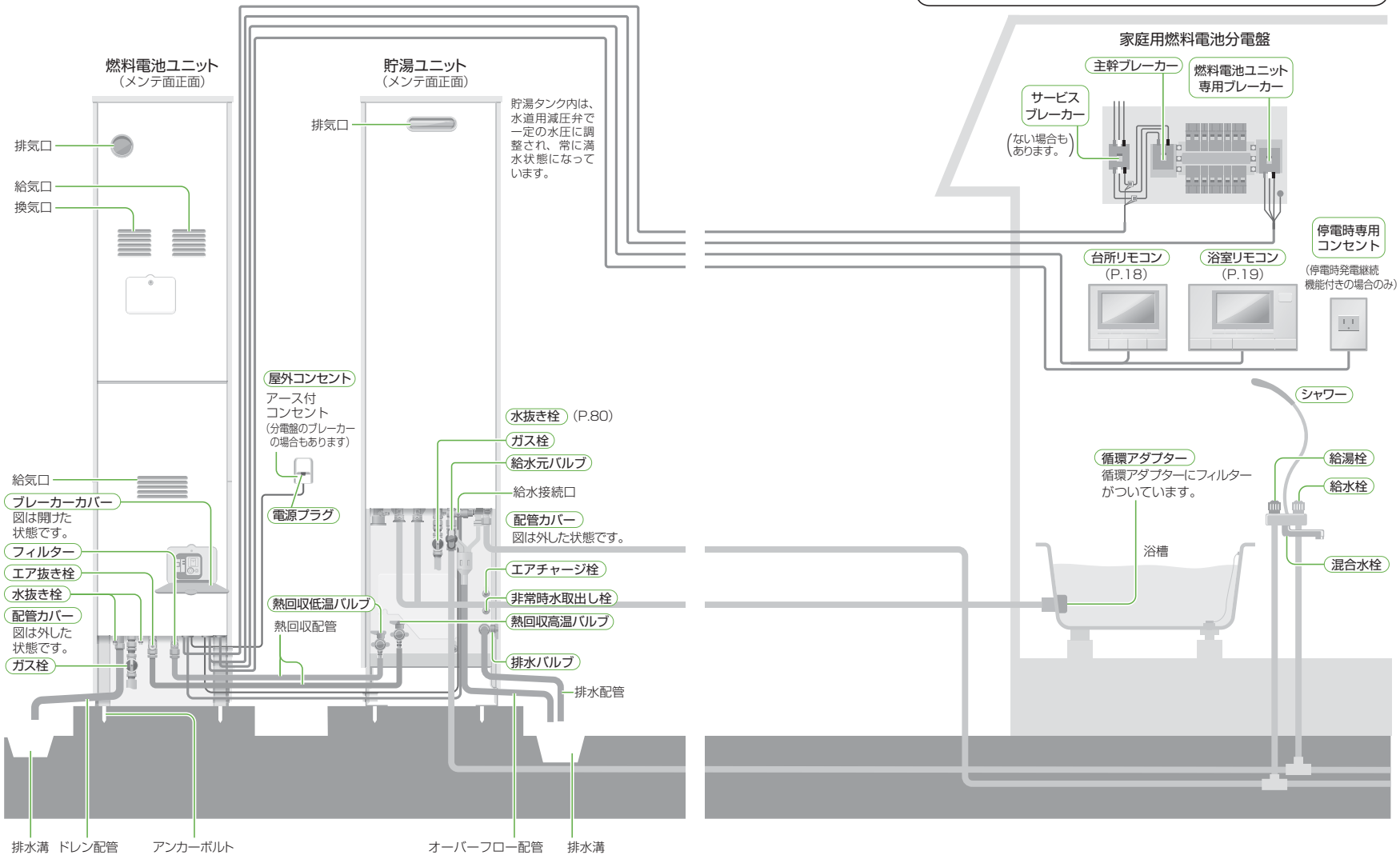
・系統電力側に接続した蓄電池には、エネファームからの充電ができません。

停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合は

■停電に備えて、停電発電モード設定が「入」になっていることを確認してください。
(事前に、停電発電モード設定を「入」にしておかないと、停電時に発電を継続できません)
→停電時に発電させたくない場合は、「切」に設定変更してください(P.57)。

各部の名前

システム全体(例)

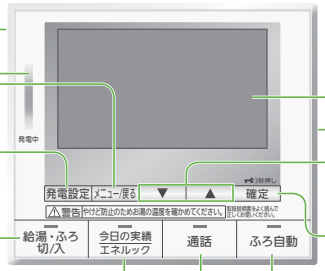


各部の名前

※増設リモコン（別売品）も接続可能です。

台所リモコン・増設リモコン

スイッチ操作後に、操作手順や注意、確定などを音などでご案内します。



- マイク（側面）
- 発電ランプ（青）
  - 発電中に点灯。
- メニュー／戻るスイッチ
  - メニューを表示するとき。
  - 前の画面に戻すとき。
- 発電設定スイッチ
  - 発電モードを変更するとき（P.42～51）。
  - ※ 台所リモコンのみ
- 給湯・ふろスイッチ・ランプ（赤）
  - リモコンの表示を切/入するとき。
  - 給湯・ふろ機能を使うとき。
- 今日の実績／エネルック スイッチ・ランプ（赤）
  - 今日の実績やエネルック（発電や使用量に関する情報）を表示、設定するとき（P.58～67）。
  - ※ 台所リモコンのみ
- 通話スイッチ・ランプ（赤）
  - 台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき（P.34）。
  - ※ 台所リモコンのみ
- ふろ自動スイッチ・ランプ（赤）
  - 設定した湯量と温度で、おふろにお湯をはるとき（P.26）。
- 画面表示部（下記参照）
- スピーカー（側面）
- 三角スイッチ
  - 給湯温度や設定内容を変えるとき。
- 確定・ロックスイッチ
  - 選んだ内容を確定するとき。
  - 誤操作を防ぐために、ロックするとき（P.25）。

お願い
リモコンスイッチは、強く押しすぎないでください。（破損のおそれ）

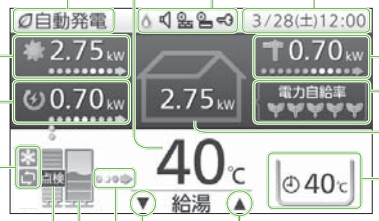
浴室リモコン

下記以外のスイッチは、台所・増設リモコンと同様です。

スイッチ操作後に、操作手順や注意、確定などを音などでご案内します。

- スピーカー
- 画面表示部（下記参照）
- 優先スイッチ・ランプ（赤）
  - 浴室で給湯温度を変えるとき（P.25）。
- マイク
- たし湯スイッチ
  - たし湯をするとき（P.31）。
- 追いだきスイッチ・ランプ（赤）
  - 追いだきするとき（P.30）。

画面表示部



- 発電モード表示（P.48）
  - 発電禁止設定をしているときに表示
  - 自動発電 → おまかせ（自動発電）
  - 自動発電 → 発電優先（自動発電）
  - 自動発電 → お湯優先（自動発電）
  - 自動発電 → 昼間優先（自動発電）
  - 予約発電
  - 発電切
  - 手動発電
  - 保護動作中 → P.46参照
  - 発電未接続 → 燃料電池ユニットが未接続ですが、お湯は使えます。
  - メンテナンス中 → 燃料電池ユニットがメンテナンス中です。
- 太陽光発電表示（W発電表示設定「入」時（P.74～75）のみ表示）
  - 発電状態表示：発電中
  - 発電電力表示：10 kW以上になると、表示は10.0 kWで固定。0.20 kW未満は表示しません。
- エネファーム発電表示
  - 発電状態表示：待機中／起動中／発電中／停止中
- 動作状態表示
  - 凍結予防などのために自動で行う動作を表示。
  - 凍結予防動作中（P.79）
  - 水質維持のための沸き上げ中（P.46）
- 給湯設定温度
- 現在日付／時刻表示
- 貯湯タンクの残湯量表示
  - 発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つ表示。
  - 0L～14L／14L～40L／40L～70L／70L～100L／100L～127L／127L～140L
  - お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示。
  - 5目盛りになると音でお知らせ（P.72～73）。
- 定期メンテナンス（点検）表示
  - 定期メンテナンス時期であることを、点滅表示でお知らせします（P.76）。
- 売電電力／購入電力表示
  - 売電電力
  - 購入電力
  - 購入電力は20 kW、売電電力は10 kW以上になると、表示はそれぞれ20.0 kW、10.0 kWで固定。
- 電力自給率表示
  - 家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示。
  - 自給率80 %を超えると全目盛（▼▼▼▼▼）表示。
  - 目盛は20 %単位（▼）で表示。
- 家庭の消費電力表示
  - 家庭で消費している電力を表示。
  - 30.70 kW以上になると、表示は30.70 kWで固定。
- ふろ状態表示
  - おふろの予約、お湯はり、保温、たし湯、追いだき、温浴（マイクロバブル浴）の状態や、ふろの設定温度を表示。
- 優先表示
  - 表示されたリモコンで給湯温度の変更が可能。（浴室リモコン「優先スイッチ」で切り替え）
- 貯湯タンクからの出湯表示
  - 貯湯タンクからの出湯を行っているときに表示（タンク内の温度や出湯温度により、燃焼表示と同時に表示することがあります）。また、貯湯タンクの残湯量表示が0目盛りでも表示することがあります。
- 燃焼表示
  - バックアップ熱源機が燃焼動作中に表示。
  - 貯湯タンクにお湯があっても、表示することがあります。
- 浴室モニター表示／浴室モニター禁止表示
  - 浴室モニター中 または禁止中に表示（P.35）。
  - 増設リモコンには、浴室モニター表示はありません。
- 暖房中／浴室暖房中
- 暖房予約／浴室暖房予約
- 暖房中+予約／浴室暖房中+予約
  - 暖房（別売品）、浴室暖房（別売品）の運転中や予約をしているときに表示。
- ロック設定表示
  - 誤操作を防ぐロック時に表示（P.25）。
  - 給湯・ふろスイッチが「切」時にも表示。

お知らせ

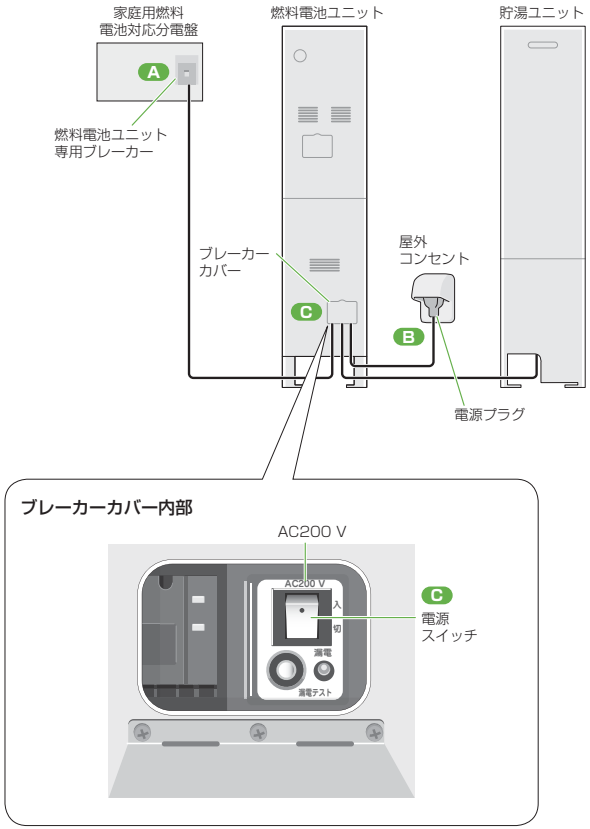
- 電力は0.05 kW刻みで表示します。
- 太陽光発電の電力を表示するためには、太陽光発電流センサーセット（別売品）が必要です。
- 電力などの表示値は、リモコンの機種によってずれが生じます。太陽光発電のリモコンなどと、大きく値がずれることがありますが、故障ではありません。
- リモコンメニューを操作しないで、約60秒間放置すると、元の画面に戻ります。
- 画面表示は、接続する機器や設定などによって異なります。

電源を「切」／「入」する

- 事前に電源の「切」／「入」の方法を確認しておいてください。
- 以下には、燃料電池ユニットから貯湯ユニットに電力を供給している場合のみを記載しています。
- お使いの燃料電池ユニット、貯湯ユニットにどこから電力を供給しているかや、操作がご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご確認ください。

電源配線パターン例

・燃料電池ユニットから貯湯ユニットに電源を供給しています。



システムの電源を「切」／「入」する場合

●電源を「切」にする方法

操作手順	操作箇所	操作内容
1	C	燃料電池ユニットのブレーカーカバー内部の電源スイッチ（AC200 V）を「切」にする
2	B	屋外コンセントから電源プラグを抜く （分電盤のブレーカーの場合もあり、この場合はブレーカーのスイッチを「切」にする）
3	A	燃料電池ユニット専用ブレーカーを「切」にする

●電源を「入」にする方法

操作手順	操作箇所	操作内容
1	A	燃料電池ユニット専用ブレーカーを「入」にする
2	B	屋外コンセントに電源プラグを差し込む （分電盤のブレーカーの場合もあり、この場合はブレーカーのスイッチを「入」にする）
3	C	燃料電池ユニットのブレーカーカバー内部の電源スイッチ（AC200 V）を「入」にする

点検（P.78）・災害（P.86）時に、貯湯ユニットのみ電源を「切」／「入」する場合

●電源を「切」にする方法

操作箇所	操作内容
B	屋外コンセントから電源プラグを抜く （分電盤のブレーカーの場合もあり、この場合はブレーカーのスイッチを「切」にする）

●電源を「入」にする方法

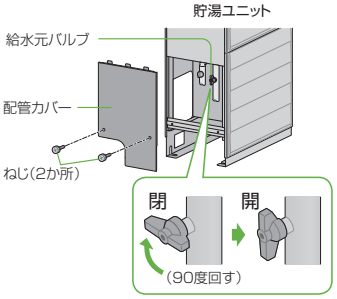
操作箇所	操作内容
B	屋外コンセントに電源プラグを差し込む （分電盤のブレーカーの場合もあり、この場合はブレーカーのスイッチを「入」にする）

はじめて使うとき

●ご使用前に、以下の準備と確認が必要です。 販売店（施工業者）が実施している場合は、必要ありません。

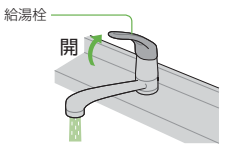
■本体周辺で

1 貯湯ユニットの配管カバーを開ける
①ねじ（2か所）を外す
②配管カバーを外す

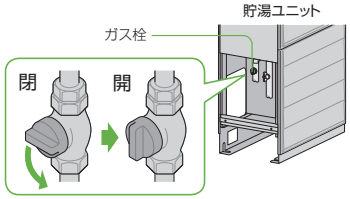


2 貯湯ユニットの給水元バルブを全開にする

3 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める
- 異音がしたり、水が出ない、または流量が安定しない場合は、「水抜き後、再使用するとき」(P.82～83)の操作をしてください。その後、手順9のみ実施してください。
- すべての給湯栓で、確認してください。
- しばらくの間、配管内の空気が出て水が飛び跳ねることがあります。



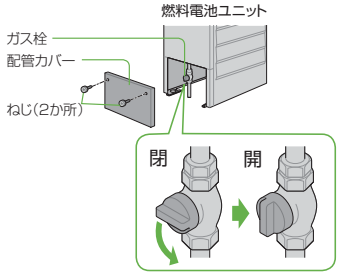
4 貯湯ユニットのガス栓を全開にする



5 燃料電池ユニットの配管カバーを開ける
- ねじ（2か所）を外す

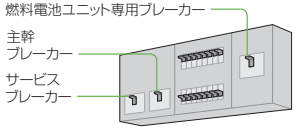
6 燃料電池ユニットのガス栓を全開にする

7 燃料電池ユニット、貯湯ユニットのシステム電源を「入」にする
（P.21）



8 貯湯ユニット・燃料電池ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける
- それぞれのねじ（2か所）を取り付ける

9 契約アンペアを確認し、リモコンの設定が正しくなければ変更する
（P.74～75）
- サービスブレーカーのつまみ付近に、アンペア表示があります。



＊サービスブレーカーは、ない場合もあります。

■台所リモコンで

1 給湯・ふろ 切/入 **を「入」にし、日付/時刻を確認する**
- 機器を正常に動作させるために、正しく日付／時刻を設定してください(P.72～73)。
- Fネットアダプタ（別売品）、Fエコーネットライトアダプタ（別売品）との接続時には、自動で日付/時刻設定が行われます。

2 太陽光発電の電力を表示させる場合には、「その他設定」で「W発電表示設定」を「入」に変更する
（P.74～75）
- 太陽光電流センサーセット（別売品）が必要です。

3 発電モードを「自動発電（おまかせ・発電優先・お湯優先・昼間優先）」または「予約発電」のいずれかに設定する
（P.48～49）
- 自動発電の場合のみ、初めてお使いになる約1週間は、午前8時に発電を開始し、自動的に発電を終了します。最長で23時まで発電します。お湯が残っている場合は、発電しないことがあります。

停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合は

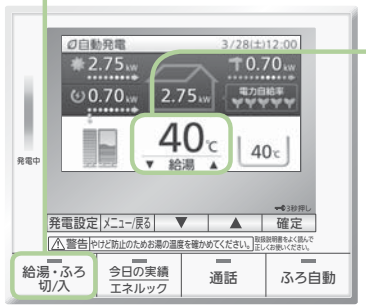
4 停電発電モード設定が「入」になっているか確認する
（P.57）
＊工場出荷時設定は「入」
- 「切」を選ぶと停電時に発電しません。停電中に「切」にすると、発電を停止します。
- 停電時発電機能オプションなどを取り付けた場合には、表示が異なります。それぞれの取扱説明書をお読みになり、設定を行ってください。

お湯を使う

台所リモコン　浴室リモコン

●台所や浴室などで、お湯を出す基本操作です。

1 「入」にする



（手順1の後の画面表示例）

2 温度を確認する

■温度を変えるとき

▼ ▲

- 浴室リモコンも同じ温度に変わります。
- 温度が変わらない場合は、浴室リモコンの優先スイッチを「切」にしてください。（P.25）

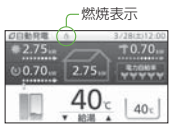
3 お湯を出す

お願い

- サーモスタットタイプ（自動温度調整装置）の混合水栓をご使用のときは、リモコンの給湯温度を、水栓の設定温度より5℃程度高くしてください（水栓側で設定した温度にならないことがあるため）。

お知らせ

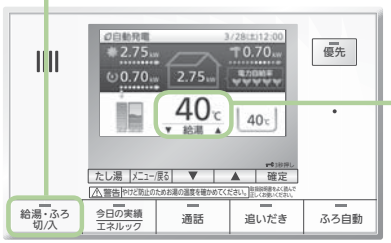
- 給湯温度は、32、35、37～48（1℃刻み）、50、55、60℃に設定できます。
- 給湯温度の数値は目安です。季節や配管長さなどの条件により、実際の温度と異なることがあります。
- 低い給湯温度に設定した場合、水温が高いと、その温度にならないことがあります。
- 高温（50、55、60℃）の場合、温度表示の文字は黒色→赤色に変わり、音声案内や警告音でお知らせします。
- 貯湯タンクにお湯がたまっている場合、お湯を使用してもバックアップ熱源機は燃焼動作しないため、燃焼表示が点灯しません。
- 貯湯タンクのお湯が少ない場合、またはお湯の温度が低い場合、お湯を使用したときにバックアップ熱源機が燃焼動作し、燃焼表示が点灯します。
- 貯湯タンクにお湯がたまっているのに、お湯を使用したときに、上記以外の原因でも燃焼表示が点灯することがあります（P.95）。
- お湯を使用していないのに、燃焼表示が点灯することがあります（P.94）。
- おふろへのお湯はり中にお湯を使った場合、ふろ設定温度のお湯が出ることがあります。



1 「入」にする

- 優先ランプも点灯します。
- すでに給湯・ふろスイッチが「入」のときは、

優先 「入」にしてください。



（手順1の後の画面表示例）

2 温度を確認する

■温度を変えるとき

▼ ▲

- 台所リモコンも同じ温度に変わります。

3 お湯を出す

優先スイッチの使い方

浴室リモコンの優先スイッチが「入」のときは、台所リモコンで、温度を変更することができません。台所リモコンで、温度を変えるときは、浴室リモコンの優先スイッチを押して、「切」にしておいてください。

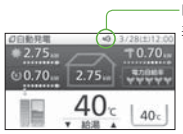
こんな使い方もできます！

誤操作を防ぐ（リモコンロック）

台所リモコン　浴室リモコン

勝手に温度を変えてしまうなどの誤操作を防ぐため、リモコン操作をロックすることができます。

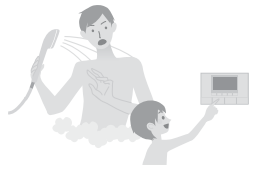
確定 3秒以上押す



■ロックを解除するとき

→ もう一度 確定 を3秒以上押す

- ロック操作したリモコンだけがロックされます。
- ロック中でも、各スイッチの「切」操作はできます。
- 停電した場合は、ロックが解除されます。

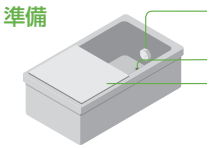


お湯をはる

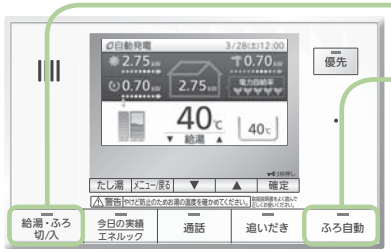
台所リモコン　浴室リモコン

●設定した温度・湯量でお湯をはり、完了後は、保温とたし湯を自動で行います（おふろの接続が必要です）。

準備



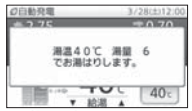
①排水栓を閉める
②循環アダプターのフィルターが付いていることを確認する
③ふたをする



（手順1の後の画面表示例）

1 「入」にする

2 「入」にする



40℃ →お湯はり中の動作表示

40℃ おふろが沸きました

（自動保温・自動たし湯が始まる）

ふろ自動とは?

※保温時間は、変更できます（P.70～71）。

■ 中止するとき
→ ふろ自動 「切」に

■ 設定温度・湯量を変えるとき
→ P.29

■ 保温時間を変えるとき
→ P.70～71

お願い

- お湯はりを完了するまでに、ふろ自動スイッチの「切」「入」を、繰り返さないでください（お湯があふれる原因）。

お知らせ

- ふろ自動を始めると、しばらくは、残り湯量の確認のため、循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
- 夏期など、給水温度が高いときには、お湯はりの始めに水が出る場合があります。
- ふろ自動中に、台所や浴室でお湯を使うと、ふろ自動を中断します（お湯を使い終わると再開します）。
- 音声案内設定時（P.72～73）には、お湯はり開始時、お湯はり完了前、およびお湯はり完了時に、音声やメロディーでお知らせします。
- 設定できるふろ温度の目安です。

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	(℃)
ぬるめ							ふつう				あつめ					

（季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なることがあります）

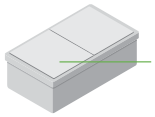
こんな使い方もできます!

残り湯を使ってお湯をはる

台所リモコン　浴室リモコン

不足分を自動でたして、ふろ設定温度でお湯はりを行います。

準備



1 「入」にする
給湯・ふろ切/入

2 「入」にする
ふろ自動

不足分を自動でたして、設定した温度まで沸かします。

■ 中止するとき
→ ふろ自動 「切」に

お知らせ

- 残り湯があっても設定した湯温・湯量（P.29）でお湯をはりますが、湯量が設定と異なることがことがあります。
- お湯はり時間は、残り湯なしでお湯はりするよりも、長くなることがあります（残り湯の湯温によっても、沸き上がり時間は異なります）。
- 湯量の不足分をたさずに、ふろ設定温度まで沸かし直す場合は、追いだきをしてください（P.30）。

こんな使い方もできます!

お湯はりと同時に浴室を暖める

台所リモコン　浴室リモコン

「ふろ自動連動」を設定しておくと、ふろ自動を行うときに、同時に浴室暖房（またはミストサウナ）が自動で入ります。

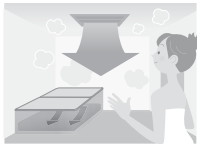
1 メニューを開く
メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

3 「ふろ自動連動」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

4 「入」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

■ 「切」にするとき
上記手順1～3の後、**4** 「切」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



お知らせ

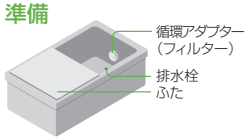
- システムに対応した浴室暖房乾燥機を接続していないと、設定はできません。
- 暖房温度設定などは、浴室暖房乾燥機の取扱説明書をご確認いただき、事前に調節してください。
- 一度設定すると、次回以降もふろ自動と連動して、浴室暖房（またはミストサウナ）が入ります。
- ふろ自動連動で始まった浴室暖房（またはミストサウナ）は、ふろ自動スイッチが「切」になると、連動して「切」になります。
- ミストサウナ運転を行った場合、台所リモコンで入り頃をお知らせする、音声案内機能付きの浴室暖房乾燥機もあります。

お湯をはる（つづき） 予約する

台所リモコン

●お湯はりを完了させたい時刻を予約して、自動でお湯はりします。

準備



①排水栓を閉める
②循環アダプターのフィルターが付いていることを確認する
③ふたをする
④リモコンの日付／時刻表示を確認する
→正しくなければ、日付／時刻を合わせる
（P.72〜73）

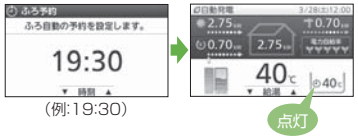
1 メニューを開く
メニュー/戻る

2 「ふろ設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

3 「ふろ予約」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

（給湯・ふろスイッチ「入」の画面例）

4 お湯はり完了時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定
- 1回押すと10分ずつ変わり、押し続けると早送りします。
- 前回の予約時刻でよければ、そのまま「確定」を押します。



（例:19:30）

■予約をやめるとき

上記手順1〜3の後、

4 「ふろ予約解除」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

■予約時刻を変更するとき

上記手順1〜3の後、

4 「ふろ予約時刻設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 予約時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定

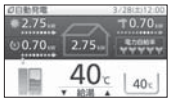
お知らせ
- 予約時刻は、現在時刻より60分以降に設定してください。60分以内にすると、予約時刻になっても、お湯はりが完了しないことがあります。
- 設定した温度・湯量でお湯はりします。温度や湯量は変更できます（P.29）。
- ふろ自動を行っているときは、ふろ予約はできません。
- ふろ予約中に、ふろ自動を「入」にすると、ふろ予約は解除され、ふろ自動を開始します。
- 残り湯があるときや、お湯はり中にお湯を使ったときは、お湯はり完了時刻が遅くなる場合があります。
- ふろ予約で、お湯はり完了時刻が前後した分だけ、ふろ保温時間も、設定時間と異なる場合があります。
- 前回の予約時刻は記憶していますが、予約の設定はお湯はりを行うたびに都度操作してください。

お湯をはる（つづき） ふろ温度・湯量を変更する

台所リモコン　浴室リモコン

●自動でお湯をはるときの温度や湯量を変更します。

1 「入」にする
給湯・ふろ切/入



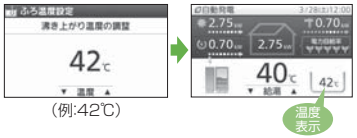
2 メニューを開く
メニュー/戻る

3 「ふろ設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

ふろ温度設定を変える

4 「ふろ温度設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 お好みの温度を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



（例:42℃）

ふろ湯量設定を変える

上記手順1〜3の後、

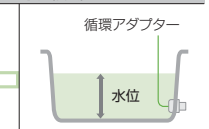
4 「ふろ湯量設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 お好みの湯量を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

（例:6）

- 設定できるふろ湯量は、最高「11」から最低「1」までです（水位は目安です。浴槽の形状や循環アダプターの種類などにより、実際の水位とは異なります。条件によっては実際の水位が数cm高くなる場合もあります）。

湯はり湯量	水位（目安）
11	48 cm
10	46 cm
9	44 cm
8	42 cm
7	40 cm
6	38 cm
5	36 cm
4	34 cm
3	32 cm
2	30 cm
1	28 cm

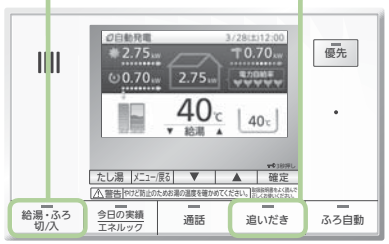


□=工場出荷時

追いだきする

浴室リモコン

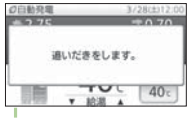
●浴槽にお湯(水)があれば、追いだきすることができます(おふろの接続が必要です)。



(給湯・ふろスイッチ「入」時の画面表示例)

1 「入」にする

2 「入」にする



→追いだき中の動作表示

追いだき完了後、元の画面に戻る

■中止するとき

→ 追いだき 「切」に

追いだき時のふろ温度について

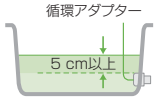
設定したふろ温度まで追いだきします。それ以降は押すたびに+1℃上がり、設定温度+3℃を上限に(設定温度45℃以上の場合は、約48℃まで)追いだきします。

お願い

・追いだきを何度も繰り返さないでください(最高約50℃になり、やけどの原因)。

お知らせ

・お湯はり中は、追いだきできません。
・お湯の量は、循環アダプター上部より、5 cm以上必要です。
・故障表示「632」が点滅した場合は、給湯・ふろスイッチを「切」にしてから、再度「入」にし、排水栓を閉めていることを確認し、浴槽にお湯(水)をたしてから、再度、追いだきスイッチを押してください。



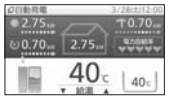
お湯をたす

浴室リモコン

●お湯をたして、浴槽の湯量を増やすことができます(おふろの接続が必要です)。
●ふろ温度設定のお湯を、約20 Lたします。
●配管内の冷たい水が混ざることがあります。

1 「入」にする

給湯・ふろ切/入



2 「たし湯」スイッチを押す

たし湯

■中止するとき

→ 確定 押す
または
たし湯 押す

お知らせ

・たし湯の温度は、ふろ設定温度と同じです。
・たし湯の湯量は、変更できません。
・たし湯中に、台所やシャワーなどでお湯を使うと、たし湯を一時中断する場合があります。このとき、給湯栓からふろ設定温度のお湯が出ることがあります。
・お湯はり中は、たし湯できません。
・給湯やシャワーを使用中は、「たし湯」を押しても、注湯しません。給湯やシャワーの使用をやめた後に注湯します。

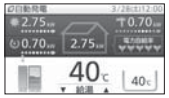
水をたす

浴室リモコン

●水をたして、浴槽のお湯の温度を下げることができます(おふろの接続が必要です)。
●水を、約10 Lたします。
●配管内のお湯が混ざることがあります。

1 「入」にする

給湯・ふろ切/入



2 メニューを開く

メニュー/戻る

3 「たし水」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■中止するとき

→ 確定 押す

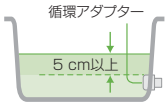
お知らせ

・たし水の水量は、変更できません。
・たし水中に、台所やシャワーなどでお湯を使うと、たし水を一時中断します。このとき、給湯中に一時的にお湯の温度が下がることがあります。
・お湯はり中は、たし水できません。
・給湯やシャワー使用中は、「たし水」を選んで確定しても注水しません。給湯やシャワーの使用をやめた後に注水します。

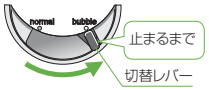
マイクロバブル浴をする

浴室リモコン

●マイクロバブル浴用循環アダプター(市販品)※の接続が必要です。
※東京ガスでは、取り扱っておりません。



準備 ①循環アダプターの上部に5 cm以上、お湯が入っていることを確認する
②リモコンの給湯・ふろスイッチが、「入」になっていることを確認する
③循環アダプターのバブル切替レバーを、「bubble」(右)側に切り替える



⚠警告 追いだき中や追いだき直後は、循環アダプターのバブル切替レバーを触らない
(やけど予防のため)

1 「入」にする
給湯・ふろ 切/入

2 メニューを開く
メニュー/戻る

3 「ふろ設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

4 「温浴運転」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 「入」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

・温浴(マイクロバブル浴)が始まり、約10分後に自動的に停止します。気泡の出かたが正常か確認してください。

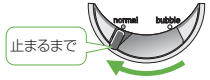
約10分後
元の画面に戻る

・マイクロバブル浴が始まると、以下のように気泡が出ます。

■停止したいとき
上記手順1～4の後、

5 「切」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

6 (終了後は)
切替レバーを「normal」(左)側に切り替える

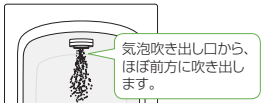


お知らせ
・ふろ自動が「切」の場合に、マイクロバブル浴の動作表示 を行います。
・たし湯中、たし水中、ふろ自動のお湯はり中は、マイクロバブル浴は設定できません。
・ふろ自動のお湯はり中は、マイクロバブル浴の設定操作はできますが、マイクロバブル浴の設定はキャンセルされます。
・追いだき中にマイクロバブル浴をすると、追いだきは停止します。
・マイクロバブル浴中にふろ自動、追いだき、たし湯、たし水をすると、マイクロバブル浴は停止します。
・マイクロバブル浴をしばらく使わないと、濁ったお湯が出る場合があるので、1週間に1回程度はマイクロバブル浴を作動させてください。

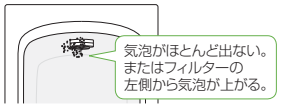
さらに詳しく知る！ マイクロバブルについて

・マイクロバブル浴用循環アダプターによって発生する、肉眼では見えにくい数十マイクロメートルの微細な気泡が、マイクロバブルです。
・マイクロバブル発生時に、それよりも大きな気泡も一緒に出てきます。
・マイクロバブル浴をしている間、マイクロバブルは浴槽のお湯全体に拡がっています。
・おふろの配管が冷えていると、マイクロバブル浴の開始時に出てくる配管内のお湯(水)によって、最初の水流が冷たく感じたり、おふろのお湯が少し冷めたりすることがあります。不快に感じる場合は、マイクロバブル浴をする前に追いだきをしておくと改善されます。
・購入設置後、最初に使用されるときは、気泡の出かたを確認してください。

(正常な出かた)



(正常ではない出かた)

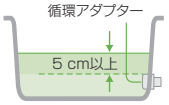


→このような場合は、ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水の使用をやめて、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へご連絡ください(お湯は使用できます)。

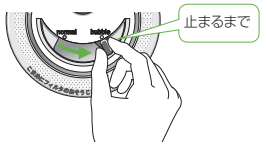
しばらく使わなかった後は

マイクロバブル浴をしばらく使わないと、次回使用時に、濁ったお湯が出る原因になりますので、残り湯を抜く前に下記の処置をして、バブル用の吸気配管の内部に残った水を排水してください。
(新しくお湯はりした状態では、下記の処置をしないでください。濁ったお湯が混ざります)

準備
循環アダプターの上部に5 cm以上、お湯が入っていることを確認する

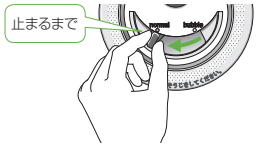


1 循環アダプターのバブル切替レバーを「bubble」(右)側にする



2 たし水を行う
(P.31)

3 たし水完了後、残り湯を抜く

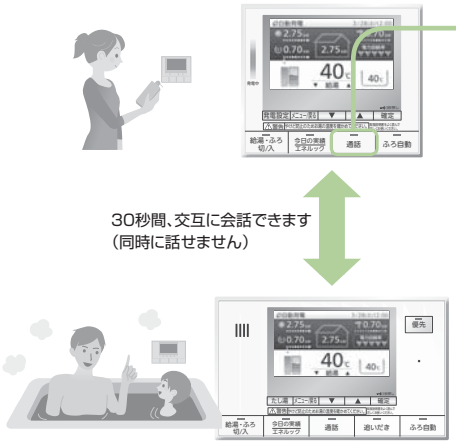


4 循環アダプターのバブル切替レバーを「normal」(左)側に戻す

通話する

台所リモコン　浴室リモコン

●台所と浴室で、30秒間交互に会話できます。



1 「入」にする

通話

2 話をする

（呼び出し音が終わったら）

- 先に話をした方から話ができます。
- 30秒後、自動的に通話は終了します（5秒前に通話ランプ点滅）。

■通話音量を変えるとき

→ 通話中に ▼ ▲ で変更する

- レベル1（小）、2（中）、3（大）に変更できます。
- 変更したリモコンのみ、音量が変わります。
- 通話音量を変えると浴室モニター音量も変わります（P.35）。

■手動で通話を終了するとき

→ 通話 「切」に

こんな使い方もできます！
音声を片方から相手に送る（送話）

台所リモコン　浴室リモコン

片方から話をする「送話」ができます。

通話 押しながら、話す

（台所リモコンで送話時の画面例）

（浴室リモコンで受話時の画面例）

■終了するとき

→ 通話 「切」に

（通話スイッチを長押ししている手を離すと、交互に話せる通話に戻ります）

- 通話中に長押ししても、送話はできます。
- 送話中は通話ランプが点滅します。
- 送話側は"おふろへ話せます。"または"台所へ話せます。"を表示します。
- 受話側は"おふろから話します。"または"台所から話します。"を表示します。
- 送話音量は、通話音量と同じです（変更するときは、受話側で行います）。

お知らせ

- 相手が話をしているときは、こちらの声は相手に聞こえません。
- 通話中、「プッ」という音がして通信が途切れることがありますが、異常ではありません。
- テレビ・シャワーなどの音が大きい場合は、その音を拾って通話が途切れることがあります。
- 通話中に優先を切り替えて、給湯温度が高温に変更されたときは、音声案内「蛇口、シャワーから熱いお湯が出ます。ご注意ください。」や警告音などでお知らせします。この間、通話はできません。

通話する（つづき） 浴室の様子を聞く

台所リモコン

●台所から浴室の音を聞いて、様子を確認することができます。

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「リモコン設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 「浴室モニター」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 お好みの音量を選び、確定する

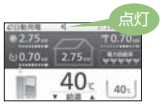
▼ ▲ → 確定

- レベル1（小）、2（中）、3（大）に変更できます。

*工場出荷時は「2」

5 浴室の様子を聞く

- 約30分後、自動的に終了します。



■解除するとき

左記手順1～3の後、

4 「浴室モニター解除」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■音量を変えるとき

左記手順1～3の後、

4 「浴室モニター音量」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

5 お好みの音量を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

お知らせ

- 浴室モニター音量を変えると、通話音量も変わります。
- 浴室モニター中、「ザザッ」という音がすることがありますが、故障ではありません。
- 台所リモコンで、「エネルック」や「今日の実績」を操作・確認中は、浴室モニターは中止します。
- 浴室リモコンで、「エネルック」や「今日の実績」を操作・確認中は、台所リモコンも浴室モニター禁止が表示され、浴室モニターはできません。
- ラジオの電波を拾うことがありますが、故障ではありません。

通話する（つづき） 聞かれないようにする

浴室リモコン

●台所から浴室の様子を聞かれないようにすることができます。

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「リモコン設定」を選び、確定する

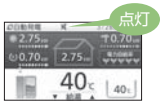
▼ ▲ → 確定

3 「浴室モニター禁止」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「する」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



■解除するとき

左記手順1～3の後、

4 「しない」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

お知らせ

- 浴室モニター禁止中でも通話はできます（P.34）。
- 浴室モニター禁止は約30分後に自動的に終了します。
- 工場出荷時は「しない」

浴室暖房する

台所リモコン　浴室リモコン

●浴室暖房乾燥機の運転を「切」「入」できます（浴室暖房乾燥機の接続が必要です）。
（ご使用の浴室暖房乾燥機によっては、操作できないものがあります）

準備

①浴室のドアと窓を閉める
②浴室暖房乾燥機の温度などを調節する（浴室暖房乾燥機のリモコンで行う）

1 メニューを開く
メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

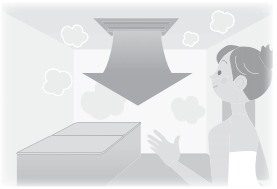
3 「浴室暖房運転」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

4 「入」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
（浴室暖房が始まる）
・浴室暖房乾燥機で設定した運転時間が経過すると、自動的に暖房が止まります。

■浴室暖房運転をやめるとき

上記手順1～3の後、

4 「切」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
・浴室暖房乾燥機で、暖房を「切」にしても停止できます。



お願い
・浴室暖房乾燥機の取扱説明書も参照してください。

お知らせ
・給湯・ふろスイッチの「切」「入」に関係なく、浴室暖房できます。
・このリモコンでは、浴室暖房乾燥機の暖房運転（またはミストサウナ運転）の「入」「切」のみ行うことができます。暖房温度の調節やその他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
・このリモコンで、浴室暖房乾燥機の暖房運転を「入」にした場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには、何も表示されず、「切」のままになっています。温度の調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
・お使いの浴室暖房乾燥機が、ミストサウナ機能付きの場合、機種によっては、ミストサウナ運転を行ったり、台所リモコンで入り頃をお知らせする音声案内を行うことができます。

浴室暖房する（つづき） 予約する

台所リモコン　浴室リモコン

●お好みの時刻を予約して、浴室暖房を運転します。

準備

①浴室のドアと窓を閉める
②リモコンの日付/時刻表示を確認する→正しくなければ、日付／時刻を合わせる（P.72～73）
③浴室暖房乾燥機の温度などを調節する（浴室暖房乾燥機のリモコンで行う）

1 メニューを開く
メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

3 「浴室暖房予約」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

4 開始時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定
・1回押すと10分ずつ変わり、押し続けると早送りします。
・前回の予約時刻でよければ、そのまま 確定 を押します。

（例:19:30）

■予約をやめるとき

上記手順1～3の後、

4 「浴室暖房予約解除」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

■予約時刻を変更するとき

上記手順1～3の後、

4 「浴室暖房予約時刻設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 予約時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定

お知らせ
・冬期の一番ぶろのときなど、浴室が冷えている場合は、あらかじめ入浴前に浴室暖房（またはミストサウナ）運転をしておくことで、入浴時に感じる肌寒さをやわらげることができます。
・浴室暖房は、入浴の約30分前から行うことをおすすめします。
・浴室の種類や大きさ・気温・湿度などの条件により、浴室が暖まる時間が異なります。暖房時間は、浴室暖房乾燥機のリモコンで調節してください。
・ふろ自動でおふろを沸かしたときに、同時に浴室暖房（またはミストサウナ）運転を開始するように、設定することもできます（P.27）。

暖房する

台所リモコン

- 温水暖房端末の暖房運転の開始･停止を、操作することができます（温水暖房端末の接続が必要です）。
- 温水暖房端末の取扱説明書も参照してください。
- 温水暖房端末の「安全上のご注意」や調整方法などについては、温水暖房端末の取扱説明書でご確認ください。
- 暖房と給湯と追いだきを同時に使うと、暖房能力が低下する場合があります。
- 温水暖房端末の操作だけで、暖房を開始しない機器をお使いの場合は、下記の手順で操作してください（暖房設定画面に「暖房運転」を表示しない場合は、この機能を使用できません）。

＊温水暖房端末の操作だけで、暖房を開始する機器をお使いの場合は、暖房する部屋の温水暖房端末の運転スイッチを「入」にしてください（下記の操作は必要ありません）。

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する

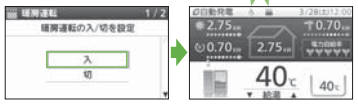
▼ ▲ → 確定

3 「暖房運転」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



5 温水暖房端末の操作をして「入」にする

・温度の調整などについては、温水暖房端末の取扱説明書でご確認ください。

■暖房運転をやめるとき

上記手順1～3の後、

4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

（温水暖房端末側も「切」にしてください）

こんな使い方もできます！ 静音で暖房運転する

台所リモコン

暖房時の貯湯ユニットの音が気になるときは、「静音運転」の設定ができます。

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 「静音運転設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■静音運転をやめるとき

上記手順1～3の後、

4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

お知らせ

- 通常、暖房運転開始時は、最大能力で運転しますが、「静音運転設定」を「入」にして、暖房能力を少し下げることで、貯湯ユニットの運転音を下げることができます。この場合、暖房能力が低下するため、暖房を入れてすぐの暖まりかたが弱くなります。
- 冷え込みが厳しいときは、暖まりにくいことがあります。
- 「静音運転設定」を「入」にすると、本システムに接続しているすべての温水暖房端末の運転時に、貯湯ユニットが静音運転します。

暖房する（つづき） 予約する

台所リモコン

●お好みの時間帯を予約して、暖房運転します（温水暖房端末の操作だけでは、暖房を開始しない機器の場合）。
（暖房設定画面に「暖房予約」「暖房予約時刻設定」を表示しない場合は、この機能を使用できません）

準備

①リモコンの日付/時刻表示を確認する
→正しくなければ、日付／時刻を合わせる
（P.72〜73）
②暖房運転を開始するために必要な温水暖房端末の操作を行う

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

新規に予約する

3 「暖房予約時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「追加設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

5 開始時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

・1回押すと1時間ずつ変わります。

（例:6:00）

予約を解除する

3 「暖房予約」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

設定を変更する（追加・削除）

3 「暖房予約時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「追加設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

5 「暖房切」または「暖房入」を選び、確定する

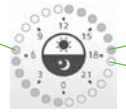
▼ ▲ → 確定

（例:暖房切）

お知らせ

・複数の時間帯を設定できます。
・予約解除をしない場合、毎日同じ時刻に暖房します。

■暖房予約時刻設定画面の見方



○予約追加を設定中に選択した時間帯を示します
◉予約削除を設定中に選択した時間帯を示します
●予約している時間帯を示します
○予約していない時間帯を示します

（例）新規に6:00〜12:00の時間帯を予約するとき

6 終了時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

・1回押すと1時間ずつ変わります。

（例:12:00）

7 「する」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

8 「設定終了」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

9 ①左記の手順1〜2を再度行う
②「暖房予約」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

10 「入」を選び、確定する

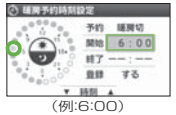
▼ ▲ → 確定

（例）6:00〜12:00の時間帯を削除するとき

6 変更開始時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

・1回押すと1時間ずつ変わります。



（例:6:00）

7 変更終了時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

・1回押すと1時間ずつ変わります。

（例:12:00）

8 「する」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

9 「設定終了」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

発電について

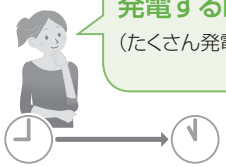
●以下の説明を参照して発電モードを選択してください(工場出荷時は「発電切」に設定しています)。

おすすめの発電モードは、
省エネ性を最優先にした
「(自動発電)**おまかせ**」です。

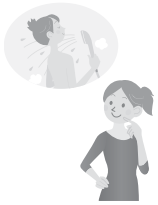
必要に応じて、以下の発電モードを
お試しください。

自動発電 おまかせ

こんなときには



発電する時間を長く
(たくさん発電)したい!



お湯を
たっぷりと
使いたい!

太陽光発電を
接続しているので
売電を増やしたい!

自動発電 発電優先

発電時間を長くして、
発電電力をたくさん
使える

自動発電 お湯優先

お湯をたっぷりと
使えるように、
発電する

自動発電 昼間優先

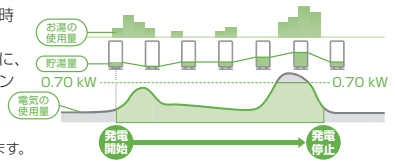
昼間の時間帯を
優先して、発電する

(44 ページにつづく)

自動発電について

お客さまの生活パターンを学習し、予測して発電を行う (P.6~7、P.47)

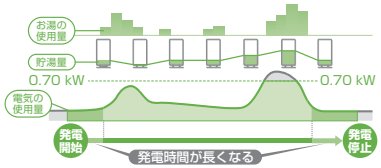
●お客さまの約1か月間の生活パターン(お湯と電気の使用時間と使用量)を学習し、同曜日4日間※の情報をもとに、当日の生活パターンを予測して、最も省エネになるように、エネファームの動きを決定します(P.47)。
●実際の生活パターンが予測の生活パターンと異なる場合は、運転パターンを一度決定した後でも、発電時刻を修正することがあります。
●貯湯タンクが満タンになって発電が停止しないように、発電電力を下げて、できるだけ長く発電を行う「満タン停止抑制運転」の設定ができます(P.74~75)。



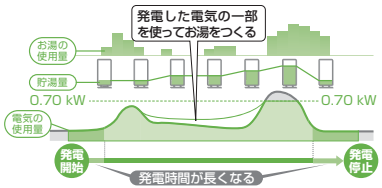
※当日が月曜日の場合:前4週間分の月曜日の情報になります。

この発電モードを!

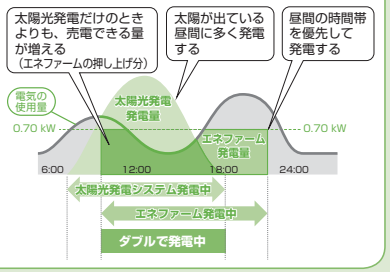
●発電時間を長く(発電量を多く)することを優先させるために、「おまかせ」より省エネ性が低くなる場合があります。
●消費電力が少ない時間帯にも発電します。
●発電時間は最長22時間です。
●電気やお湯の使用量や頻度によっては、発電時間が長くならないこともあります。またお湯が余る場合は、「おまかせ」や「予約発電」をお試しください。



●お湯をつくることを優先させるために、「おまかせ」より省エネ性が低くなる場合があります。
●ご家庭の消費電力よりも多くの電気をつくり、その電気の一部を使ってお湯をつくります。
●お湯をつくることを優先した運転パターンで発電することで、発電時間が長くなる場合もあります。
●電気やお湯の使用量や頻度によっては、発電時間が長くならない場合や、お湯がたまりにくい場合があります。
●お湯が余る場合は、「おまかせ」や「予約発電」をお試しください。



●太陽光発電を設置している場合、家庭内で消費する電力をエネファームでまかなうことで、太陽光発電の多くを売電できます。
●電気やお湯の使用量や頻度によっては、午後から発電を開始したり、夜間も発電する場合があります。思いどおりに昼間に発電しない場合は「予約発電」をお試しください。
●曇りや雨の日でも昼間の時間帯を優先して発電します。
●家庭内の電気使用量が、太陽光発電とエネファームでつくった電気より多い場合は、売電できません。



レベルB

発電について（つづき）

こんなときには		この発電モードを！
自分で発電時刻を決める！ ・いつもと生活パターンが異なる ・思いどおりの時間に発電しないから‥ ・発電予報やふろ予報とのずれがあるから‥	**予約発電** お客さまが決めた時刻に発電する	●起動にかかる時間によって、発電開始時刻がずれることがあります。 ●発電禁止時刻設定（P.50～51）の開始時刻が、発電開始時刻に近い場合、発電時間が短時間になることがあります。 ●貯湯タンクのお湯が満タンのときや、発電停止後2時間以内のときは、設定した発電開始時刻になっても発電しません。 ●貯湯タンクが満タンになった場合など、予約発電で設定した終了時刻まで発電を行わないことがあります。 ●保護動作中、メンテナンス中、発電制限中（P.46）の場合には、予約発電の設定ができません。 ●一度設定すると、毎日予約時刻に発電を開始します。
今すぐに 発電をしたい！ →発電するまで約50分間かかります 手動発電を止めたい！ →元の発電モードに戻ります	**手動発電** 必要なときに強制的に発電する また、手動発電を終了する	●「自動発電」「予約発電」のときに選択できます。「発電切」のときは選択できません。 ●貯湯タンクのお湯が満タン、発電禁止時間帯（P.50～51）、保護動作中、メンテナンス中、発電制限中（P.46）の場合には、「発電制限のため手動発電することができません。」と表示します。 ●「手動発電」をやめると元の発電モードに戻るため、継続して発電する場合があります。発電を停止させたいときは、「発電切」を選んでください。
発電を止めたい！ →停止するまで約90分間かかります	**発電切** 発電を止める	●旅行などで不在にする場合（目安24時間以上）は、「発電切」にしてください。 ●短時間（目安24時間）でも、下記のケースで発電を停止する必要がある場合は、「発電切」にしてください。 ・お客さま宅で電気・ガスなどの工事をする場合 ・燃料電池ユニットから1.5 m以内で油性塗料を用いた壁などの塗装および塗装乾燥をする場合 ・計画的な停電（停電時発電継続機能なしのみ）・断水・ガス供給停止が分かっている場合 ・電気・設備の点検をする場合 ●メンテナンスなどで燃料電池ユニットの電源を「切」にした場合は学習を行わないので、当日の発電は23時までになります。 ●機器のメンテナンス後に発電を再開するときは、「自動発電」「予約発電」のいずれかを選んでください。 ●10日以上「発電切」の状態が続くと、「発電切の状態が続いています。発電するときは、発電設定を変更してください。」と表示し続けます。

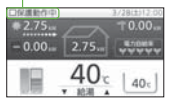
発電について（つづき）

発電の制限について

- お使いのエネファームは1日に2時間以上の機器内部リフレッシュを必要とします。この時間はエネファームの発電ができません。
- 発電は1日に1回です。工事などで発電を停止させた場合や自動停止した場合は、その後発電を行うことはできません。
- 貯湯タンクにお湯が満タンになると発電を停止します（満タンにならなくても停止することがあります）。
- 発電させたくない時間帯を設定できます（P.50～51）。
- 省エネ性の判断は、季節で変わる水温やお湯の使用量の影響を受けるため、季節によって実際の発電時間は変動します。
- 起動から発電開始まで、約50分間かかります。
- 「発電切」で発電を停止してから待機状態になるまで、最長約90分間かかります（通常運転時の停止の場合は、約15分間です）。

保護動作とは?

- 機器を正常に動作させるために、保護動作を行うことがあり、その間は発電を停止します。
- 保護動作による発電の停止動作中、あるいは、発電の予定時刻になっても発電を開始できないときには、リモコンに「□保護動作中」を表示します。



表示	原因	対処方法
□が無色	一定時間お湯を使用していないとき	⇒ お湯を一定量（10 L程度）使ってください。保護動作中の表示が消え、貯湯タンクが満タンになるまで沸き上げます。沸き上げ中は、リモコンに動作状態表示 します（P.18）。なお冬期などは、満タンになるまで、長時間（1 日程度）かかることがあります。満タンになったお湯を使って減らすと、運転計画に従って、次回の発電を開始します（すぐに発電を開始しないことがありますが、故障ではありません）。
□が黒色	ご家庭の電気使用量が多く、ブレーカー遮断のおそれがあるとき	⇒ 契約アンペアが、正しく設定できているか確認してください（P.74～75）。頻発するときは、容量の大きいブレーカーに交換してください。
□が黄色	機器の温度が運転可能温度を超えているとき	⇒ 外気温が下がり、燃料電池ユニットの温度が下がるのをお待ちください。
□が青色	1日1回の発電後、2時間停止をしているとき	⇒2時間以上経過するのをお待ちください。
□が赤色	発電停止させることでマイコンメーターの機能を確認しているとき	⇒次回の発電をお待ちください。

マイコンメーター機能確認とは?

- マイコンメーターはガスが長期間流れた場合に、ガスご使用有無の確認を本体ランプの点滅によって促す機能があります。エネファームによる連日の長時間発電や、給湯・床暖房のご使用が続いた場合に、ガスの連続使用を検知し、マイコンメーターの機能を確認するため、27日に1回、発電を12時間停止させます。12時間の停止中はリモコンに保護動作（□が赤色）を表示します。保護動作表示中にガス機器のご利用が続く場合は、故障表示「01F0」が表示される場合があります。この場合は、ガス機器のご利用を1時間以上お控えください（P.102）。

発電によってたまるお湯の量

発電によって、たまるお湯の量（参考）は、以下の通りとなります。貯湯タンクの容量は、140 Lです。なお、放熱などは考慮されておらず、設置条件などによっても異なります。

		発電電力 0.20 kW			発電電力0.70 kW		
		水温5℃	水温15℃	水温30℃	水温5℃	水温15℃	水温30℃
発電時間	5時間	15 L	20 L	30 L	80 L	100 L	満タン
	10時間	40 L	45 L	70 L	満タン	満タン	満タン

学習機能と予測機能について

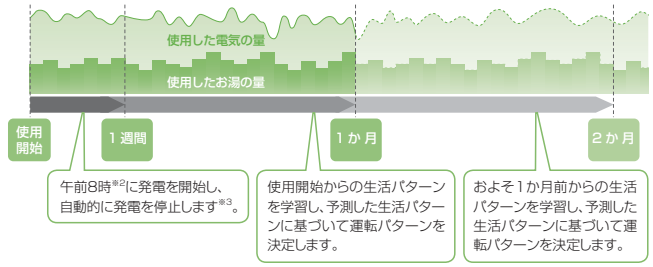
学習機能

ご家庭で使用したお湯と電気の量およびその時刻から、およそ1か月間の生活パターンを機器が記憶します。

予測機能

学習した日々の生活パターンのうち、過去の同曜日4日間※1の情報をもとに、当日の生活パターンを予測します。その生活パターンに基づき、運転パターンを決定し、省エネになる時間帯に発電します。なお、実際のお湯や電気の使用量から、1日に数回、運転パターンの見直しを行うため、運転パターンを変更する場合があります。

※1 当日が月曜日の場合：前4週間分の月曜日の情報にもとづきます。



※2 午前8時から発電する場合は、午前7時頃から起動します。
※3 最長で23時まで発電します。お湯が残っている場合は、発電しないことがあります。

上手なエネファームの使い方の例

「（自動発電）おまかせ」の場合、エネファームは、自動で省エネとなる運転をしますので、普段どおりの生活をお過ごしください。さらに省エネ性を高めたいときなどは、以下の上手な使い方の例を参考にしてください。

こんなとき	上手な使い方の例
さらに省エネ性を高めたいとき	毎日の生活リズムが大きく変わらない使い方をすると、学習機能のメリットが最大限に生かせ、省エネ性が向上します。
旅行などで不在（目安24時間以上）のとき	発電切（P.48～49）にして、発電を停止しておくと、無駄なエネルギー消費をなくすことができ、省エネ性が向上します。ご帰宅後、発電切にする前と、運転パターンが大きく変わることがありますが、故障ではありません。運転パターンが大きく変わった場合は、一時的に、予約発電や手動発電（P.48～49）もお試しください。学習機能によって、徐々に元の状態に戻ります。
ふろ予報の時刻とお客さまがおふろのお湯はりをしたい時刻が異なるとき	ふろ予約をできるだけ早く（例えば、夜に入浴される場合は朝のうちに）設定すると、予測を修正して運転パターンを変更し、省エネ性が向上します。予約発電や手動発電（P.48～49）もお試しください。
思いどおりの時間に発電しないとき	予約発電、手動発電（P.48～49）をおすすめします。

レベルB

発電する

台所リモコン

●発電モードは、省エネ性の高い「(自動発電)おまかせ」をおすすめします(工場出荷時は、「発電切」に設定しています)。

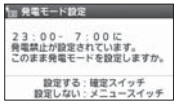
1 発電設定スイッチを押す

発電設定

2 「発電モード設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

・発電禁止時刻設定(P.50~51)していて、発電モード設定を選択した場合、右記画面が表示されます。



■設定するとき
→ 確定 を押し、手順 3 にすすむ

■設定しないとき
→ メニュー/戻る を押す

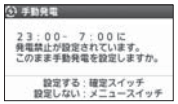
3 お好みの<発電モード>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■今すぐ発電を止めたいとき
手順2で「発電禁止設定」を選び確定する

■今すぐ発電を始めるとき/手動発電をやめるとき
手順2で「手動発電」を選び確定する

・発電禁止時刻設定(P.50~51)していて、手動発電を行う場合、右記画面が表示されます。



■手動発電を行うとき
→ 確定 を押し、手順 3 にすすむ

■手動発電を行わないとき
→ メニュー/戻る 押す

<発電モード>

自動で発電する

自動発電
- おまかせ
- 発電優先
- お湯優先
- 昼間優先

時刻を決めて発電する

予約発電

今すぐ発電を止めたいとき

発電切

今すぐ発電を始めるとき/手動発電をやめるとき

手動発電

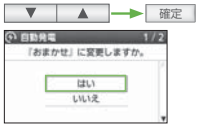
(自動発電/予約発電のときに選択できます(P.42~45))

4 お好みの<自動発電>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

5 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



(例:おまかせ)

4 発電の開始時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

(例:8:00)

・1回押すと30分ずつ進み、長押しで早送りします。

5 発電の終了時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

(例:21:00)

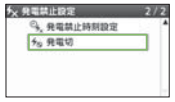
・発電時間は3時間~22時間の間で、設定することができます。
・現在時刻から発電終了時刻までが、3時間以内の場合は、次回の発電開始時刻まで発電しません。

6 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 「発電切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

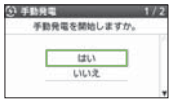
今すぐ発電を始めるとき →実際に発電が開始するまで、約50分間(起動時間)かかります。

3 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



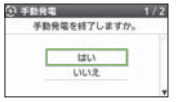
手動発電をやめるとき →元の発電モードに戻って、発電を行います。

3 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



お知らせ

・機器を正常に動作させるために、保護動作を行うことがあり、その間は発電が停止します(P.46)。
・発電開始を鳥(オオルリ)の鳴き声でお知らせします(P.73)。

発電禁止時刻を設定する

台所リモコン

●夜間など、発電させたくない時間帯がある場合は、発電禁止時刻を設定することができます。
（最短30分間、最長14時間）

1 発電設定スイッチを押す

発電設定

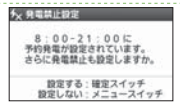
2 「発電禁止設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

新規に禁止時刻設定する

3 「発電禁止時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



・予約発電が設定されている場合、上記画面が表示されます。

■設定する（発電禁止時刻設定する）とき
→ 確定 を押し、手順 **4** にすすむ

■設定しないとき
→ メニュー/戻る 押す

4 禁止開始時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

（例:23:00）

・1回押すと30分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

5 禁止終了時刻を設定し、確定する

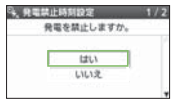
▼ ▲ → 確定

（例:7:00）

・1回押すと30分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

6 「はい」を選び、確定する

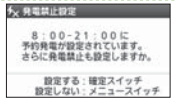
▼ ▲ → 確定



禁止時刻設定を変更する

3 「発電禁止時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



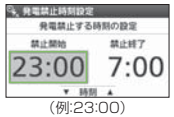
・予約発電が設定されている場合、上記画面が表示されます。

■設定する（発電禁止時刻設定する）とき
→ 確定 を押し、手順 **4** にすすむ

■設定しないとき
→ メニュー/戻る 押す

4 禁止開始時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定

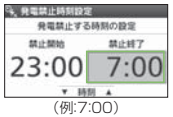


（例:23:00）

・1回押すと30分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

5 禁止終了時刻を設定し、確定する

▼ ▲ → 確定



（例:7:00）

・1回押すと30分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

6 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

禁止時刻設定を解除する

3 「発電禁止設定解除」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

お知らせ

・発電禁止時刻を設定すると、禁止開始時刻までに発電を終了して、停止工程に入ります。また、禁止終了時刻以降に、起動を始めます。

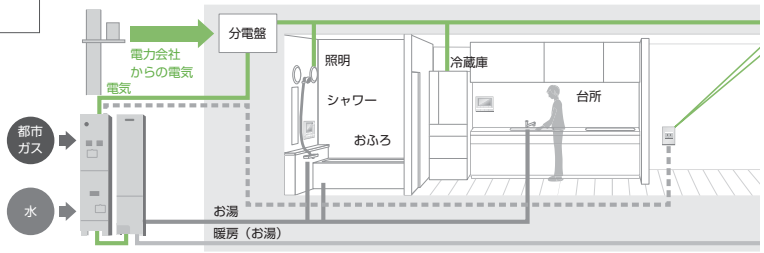
停電時の発電について

●停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合（台所リモコンでメニューを押して、「停電設定」が表示される場合（P.57））のみ、停電時に発電することができます。

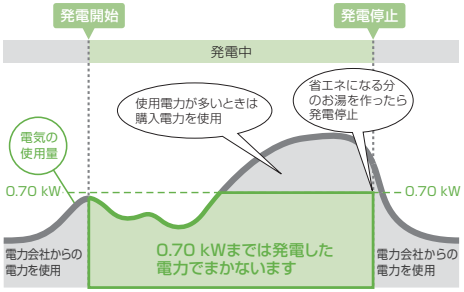
■通常時から停電時への運転イメージ（一例）

通常時

エネファームでつくった電気と、電力会社からの電気を併用します



停電時専用コンセント
あらかじめ、停電時専用コンセントが設置されています（通常時は使用できません）。
＊事前に販売店から、停電時に使える停電時専用コンセントを確認してください。

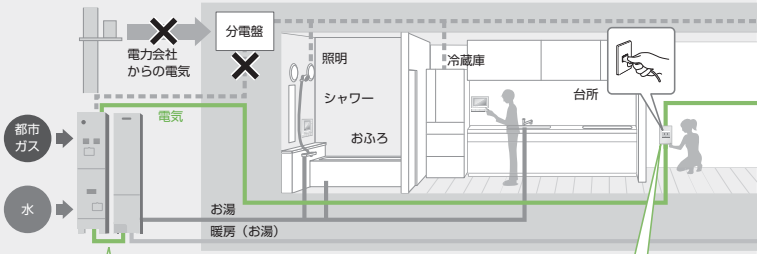


停電になったら!

停電時

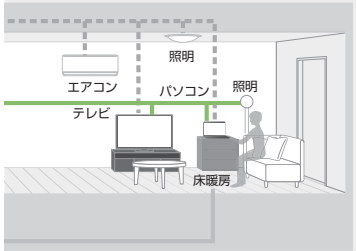
停電時に、エネファームが発電しているときに限り※1 電気の流れを自動で切り替え、停電時専用コンセントが使用可能になります

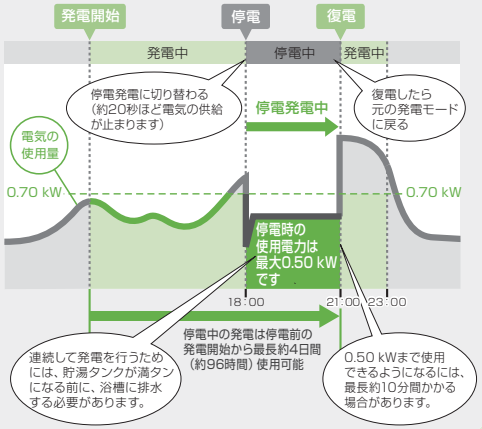
停電時でも、エネファームで発電した最大0.50 kW※2 ※3 の電力を使用できます。



貯湯ユニットには自動で電気が流れます。

停電時専用コンセント
自動的に回路が切り替わり、停電時専用コンセントに電気が流れます。
＊タコ足配線はしないでください。





※1　停電時はエネファームの起動ができないので、エネファームが発電中以外の状態（P.18）で停電になった場合、電気とお湯を使用することができません。
※2　貯湯ユニットに供給する電力も含みます。
※3　使用できる電力は、停電前の発電電力などによって異なります。

●停電時発電機能オプションなどを取り付けた場合も、停電時に発電することができます。
（詳しくは、停電時発電機能オプションなどの取扱説明書をご確認ください）
●停電時の発電は、省エネ性が低下します。

停電時に発電する

台所リモコン　浴室リモコン

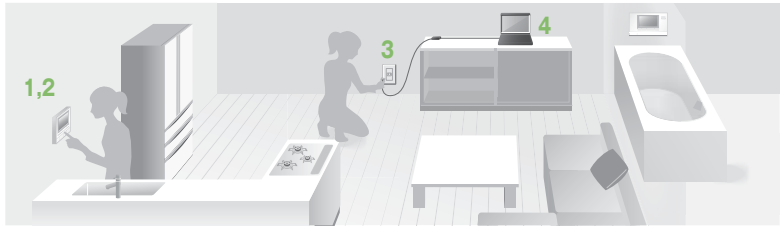
●計画停電など、あらかじめ停電予定日時が分かっている場合には、停電予定の前日までに、予約発電の設定により、停電予定時刻の2時間前に発電を行ってください。

■ 停電前に

停電時に発電をするためには、事前に「停電発電モード設定」が「入」になっていることを確認しておいてください(P.57)。

■ 停電直後は

停電が発生すると、画面と音でお知らせします。

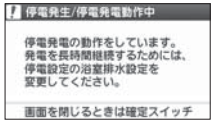


1,2のリモコン確認・操作は、浴室リモコンでもできます。

1 表示画面を確認し、確定する

確定

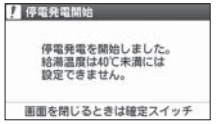
■ 浴室排水設定を変更するときは(P.57)



- 左記画面を表示しないときは、停電時に発電しません(P.89)。
- 左記画面以外が表示されているときは、停電時発電機能オプションなどが取り付けられています。詳しくは、停電時発電機能オプションなどの取扱説明書をご確認ください。

2 表示画面を確認し、確定する

確定



- エネファームは、最長約4日間※1発電を継続(自立運転)できます。それ以降は、停電が復旧するまで発電できません(4日間発電を継続した後は、機器保護のため発電を停止します)。

※1 停電前に発電していた時間を含みます。

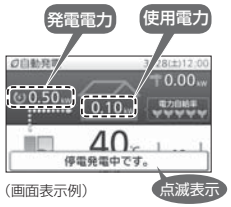
(画面表示例)

- 停電前に給湯・ふろスイッチが「切」の場合は、「停電発電中です。」の点滅表示のみ行います。
  →給湯・ふろスイッチを「入」にしてください。
- **給湯設定温度が40℃未満の場合、排水量を少なくするために、自動で40℃に切り替わります。**
  (停電発電中は、給湯温度を40℃未満には設定できません。ふろ温度は、40℃未満も設定できます)
- **停電時は、太陽光発電による発電電力値を表示できません。**
- 画面左上の発電モード表示は、停電前の発電モードを表示します(保護動作中は、現在の動作を表示します(P.46))。

3 使用したい電気機器を「停電時専用コンセント」に接続する

■ 発電を停止したいときは
→停電発電モード設定を「切」にする(P.57)

4 接続した電気機器の電源を入れて、使用する



(画面表示例)

- 最大0.50 kWの電力を使用できます。ただし、エネファームで消費する電力を含みます。
- リモコンの使用電力の表示が、エネファームの発電電力以下となるように電気機器の使用量を調整してご使用ください。

⇒ 電気機器を接続し、電源を入れても、使用できないときは

(1) リモコンの「発電電力」の表示が0.00 kWのときは、電気機器の電源をいったん切り(プラグは差し込んだまま)、約15秒間待ちます。その後、電気機器の電源を入れて、使用可能であるかをご確認ください。
(2) (1)でも電気機器が使用できない(リモコンの「発電電力」の表示が0.50 kWにならない)場合は、必ず、電気機器のプラグを抜いてください(→ お知らせ)。
以下の理由で、ご使用できない可能性があります。

停電前の発電電力が小さかったため、すぐに最大電力を使えない	最大電力を使用できるまで、最長約10分間かかります。 → 約10分後に、再度ご使用ください。
使用電力が発電電力を超えている	消費電力の大きな電気機器(電子レンジやヘアドライヤーなど)や、一時的に大電流が流れる電気機器(冷蔵庫や洗濯機など)は使用できません。 → 使用電力を減らす設定(扇風機の強→弱など)ができる電気機器は、設定を変更してご使用ください。設定が変更できない電気機器は、使用できないので、他の電気機器をご使用ください。
電気機器の電気制御が特殊である(ヘアドライヤーや掃除機など)	→ 使用できない場合があるので、他の電気機器をご使用ください。

お知らせ

- リモコンの「発電電力」の表示が0.00 kWの状態では、**給湯・ふろ・暖房機能は使用できません**(リモコンの操作は可能です)。また、使用できない電気機器のプラグを抜かずにそのままにしておくと、電気の供給と停止(リモコンの「発電電力」の表示が0.50 kWと0.00 kW)を約20～30分間繰り返し、**停電発電を停止します。**

(参考) 使用電力の目安※2

·液晶テレビ(32型)	約0.07 kW	·照明(LED電球5灯)	約0.04 kW	→使用電力は、メーカー・機種・使用条件などによって変わります。さらに動作しない機種もあります。
·扇風機	約0.04 kW	·シャワー	約0.12 kW	
·ノートパソコン	約0.06 kW	·ふろ自動	約0.16 kW	
·携帯電話の充電	約0.01 kW	·ガス温水床暖房	約0.21 kW	※2 パナソニック調べ(2014年1月)
·照明(白熱電球)	約0.06 kW	·シャワー+ふろ自動+ガス温水床暖房	約0.31 kW	

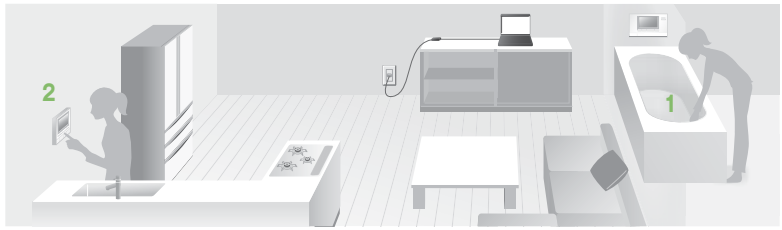
停電時に発電する(つづき)

台所リモコン　浴室リモコン

■ 発電を長時間継続して行う

貯湯タンクが満タンになると、発電を停止します。

→ 貯湯タンクが満タンにならないように、お湯を使って減らすか、以下の操作を行ってください。



以下のリモコン確認・操作は、浴室リモコンでもできます。

1 浴槽の排水栓を開ける

2 「浴室排水設定」を「入」にする (P.57)

⋮

貯湯タンクが満タンになると、以下の画面が表示されます

浴室排水が開始します

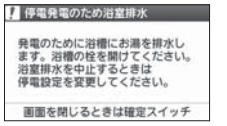
■ 浴槽の排水栓が開いていることを確認する

■ 浴室排水を中止するときは

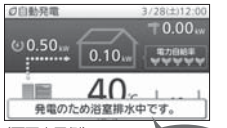
→浴室排水設定を「切」にする (P.57)

● 確定スイッチを押し、浴室排水のお知らせ画面を閉じる

確定



(浴室排水のお知らせ画面)



(画面表示例)

点滅表示

- 貯湯タンクが満タンになる直前に表示します。
- 排水するたびに表示します。浴室排水後は、「■停電直後は」手順 4 (P.55)の画面に戻ります。
- 貯湯タンクからの約40℃のお湯を、おふろの循環アダプターから排出します。
- 浴室排水時、報知音でお知らせします。→報知音を消したいときは、浴室排水報知音設定を「切」にする (P.57)
- 浴室排水を行うと、自動で給湯・ふろスイッチが「入」になります。

お知らせ

- 暑い時期には、約1時間ごとに浴室排水が必要な場合があります。1回で100 L以上浴室排水することもあります。
- 浴室排水中は、浴室排水が優先され、給湯は40℃(ふろ温度)で出湯となり、ふろ自動・追いだき・たし湯・たし水・温浴(マイクロバブル浴)・ふろ予約※1はできなくなります。
  ※1 すでに予約している分もキャンセルされます。
- 貯湯タンクの湯量や水量などによっては、浴室排水が停止する場合があります(貯湯タンクが満タンになると発電を停止します)。

設定を変更する

● 浴室排水設定と浴室排水報知音設定は、停電が発生するまで設定を変更することができません。

停電発電モード設定

台所リモコン

＊ 工場出荷時設定は「入」

1 メニューを開く　メニュー/戻る

2 「停電設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

3 「停電発電モード設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

4 「入」または「切」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

- 「切」を選ぶと停電時に発電しません。停電発電中に「切」にすると、発電を停止します(発電を停止すると画面表示が消えます)。

5 画面を確認して、確定する　確定

浴室排水設定

台所リモコン　浴室リモコン

＊ 工場出荷時設定は「切」

1 メニューを開く　メニュー/戻る

2 「停電設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

3 「浴室排水設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

4 「入」または「切」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

- 浴室排水中に「切」を選ぶと、排水を中止することができます。

5 画面を確認して、確定する　確定

- 「入」を選んだ場合は、必ず浴槽の排水栓を開けてください。

＊ 停電復旧後、工場出荷時設定に戻ります。

浴室排水報知音設定

台所リモコン　浴室リモコン

＊ 工場出荷時設定は「入」

1 メニューを開く　メニュー/戻る

2 「停電設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

3 「浴室排水報知音設定」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

4 「入」または「切」を選び、確定する　▼ ▲ → 確定

5 画面を確認して、確定する　確定

＊ 停電復旧後、工場出荷時設定に戻ります。

■ 停電復旧後は

「停電時専用コンセント」に接続した電気機器のプラグを、直ちに取り外す

- 停電前の発電モードに戻ります。
- 浴室排水設定は「切」、浴室排水報知音設定は「入」(工場出荷時設定)に自動的に戻ります。

今日の実績/エネルックについて

エネルック

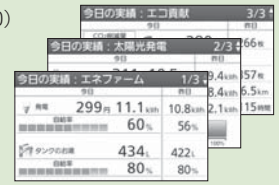
（詳しい使い方は、P.62～67）

「エネルック」とは、発電などに関する情報や電気・ガス・お湯（水道）・光熱費などの、使用量や使用料金の目安などをリモコンで見る機能です。台所リモコンでも、浴室リモコンでも見ることができます。
エコ貢献度を、さらに高めるためには、「上手なエネファームの使い方の例」（P.47）を参考にしてください。

今日の情報をパッと見たいときは

今日の実績

（詳しい使い方は、P.60）



エネファームから

「年に一度のお知らせ」

・9年目まで毎年表示します。

確定 押す

・確定 を押すと、表示は元の画面に戻ります。

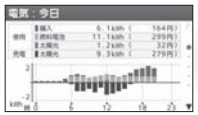
お知らせ

・確定 を押すまで、表示し続けます。
・省電力設定中には表示しませんが、スイッチを操作すると表示します。

つくった量をチェックする！

「発電」「W 発電」

（P.62～63）



CO_2 削減量などをチェックする！

「エコ」

（P.62～63）

使った量をチェックする！

「使用量」

（P.64～65）

運転予定をチェックする！

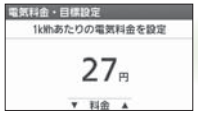
「お知らせ」

（P.64～65）

エネルックの設定を変えるときは

「エネルック設定」

（P.66～67）



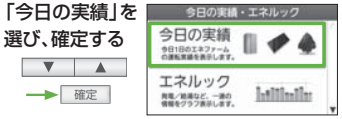
今日の実績を見る

台所リモコン　浴室リモコン

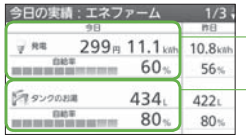
●今日の実績をパッと見ることができます。

1 「今日の実績/エネルック」を開く

2 「今日の実績」を選び、確定する



今日のエネファーム



エネファームでつくった、今日の
- **発電量/自給率**

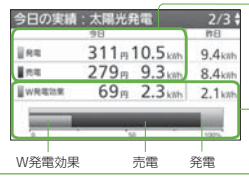
エネファームでつくった、今日の
- **タンクのお湯（使用量）/自給率**

・タンクのお湯は、水道水を40℃で給湯する条件で計算しています（東京都水道局の水温公表値（平成16年度～21年度の平均値））。

▼押す　▲押す

今日の太陽光発電

・太陽光発電の電力を表示させるセンサーを取り付けていないときは、表示しません（W発電表示設定「入」時（P.74～75）のみ表示）。

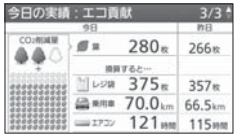


太陽光でつくった、今日の電気の
- **発電量**
- **売電量**
- **W発電効果（売電量のうち、エネファームの発電により増えた量）**

それぞれの割合を表示

▼押す　▲押す

今日のエコ貢献



エネファームと太陽光発電※による、今日のCO_2削減量を「ブナの木」で表現し、さらに
- **レジ袋の枚数　→ レジ袋をもらわない**
- **乗用車の走行距離 → 乗用車の使用を控える**
- **エアコンの運転時間 → エアコンの運転を控える**

などのエコ活動に換算してエコ貢献度を表示

※太陽光発電に接続して、W発電表示設定「入」時（P.74～75）のみ

・レジ袋は、37.24 g-CO_2/枚として計算（一般社団法人 プラスチック循環利用協会より）
・乗用車は、200 g-CO_2/kmとして計算（一般財団法人 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」（2012年度版）、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」より）
・エアコンは、115.23 g-CO_2/時間として計算（一般社団法人 日本冷凍空調工業会ホームページより）

■終了・中止するとき

→ 今日の実績 エネルック 押す

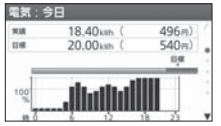
さらに詳しく知る！ エネルック表示内容の算出方法

■使用量や使用料金の表示は目安です

●実際の使用量や請求される料金とは異なります。
●リモコンに表示される内容は、

電気

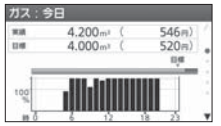
・エネファームで使用した分だけでなく、お客さまが使用したすべての使用量を表示します。
・エネファームや太陽光発電システムで発電した分※も含みます。
※太陽光発電の電力を表示させるセンサーを取り付けていないときは、表示しません。（W発電表示設定「入」時（P.74～75）のみ表示）



（今日の電気料金表示例）

ガス

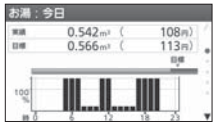
・エネファームで使用した分だけを表示します。
・ガスファンヒーターやガスコンロなどで使用した分は含みません。



（今日のガス料金表示例）

お湯（お水）

・エネファームで出湯した分だけ表示します。
・エネファームとつながっていない水栓やトイレなどで使用した分は含みません。



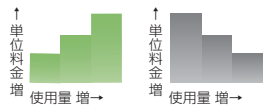
（今日のお湯（水道）料金表示例）

・給湯・ふろスイッチ「切」時に、給湯栓などのお湯側から水を出した場合、貯湯ユニット内を通るので、「お湯の使用量」に加算します。
・F電力測定ユニット（別売品）を接続すると、家全体のガス・水道の使用量を表示することができます。
→実際の使用時刻よりも遅い時間帯に、使用量が算入されることがありますが、これはメーターの発信器の性質によるもので、異常ではありません。
・計算に使用する数字の桁数が異なるため、画面により表示が異なることがあります（毎月初めの1日の「今日」と「今月」の値など）。
・機器の保護動作のために使用したガスの使用量なども算入されます。

■電気、ガス、水道などの単位料金は使用量や地域で異なります

・「エネルック設定」（P.66～67）で料金単価を設定します。実際の請求料金算出に使う「単位料金」は、各電気・ガス・水道事業者によって異なります。

・電気・水道（例）　・ガス（例）



■CO_2排出量の削減を「ブナの木」で表現しています

・CO_2排出量をどれだけ削減できたかを、ブナの木で表します。「木1本＝ブナの木が1年で平均してCO_2約5 kgを吸収する」として計算したものです（実際のブナの木が吸収する量とは異なります）。

・電気のCO_2原単位は、マージナル係数（火力発電所のCO_2排出係数）を使用し、0.69 kg-CO_2/kWhで計算しています（中央環境審議会地球環境部会 目標達成シナリオ小委員会中間取りまとめ（平成13年）より）。
・給湯のCO_2排出量の削減は、従来の都市ガス給湯器で、給湯を行った場合と比較して計算しています。

エネルックで見る

台所リモコン　浴室リモコン

●エネルックで、電気・水道・ガスの使用量やCO₂削減量などを見ることができます。

1 「今日の実績/エネルック」を開く

2 「エネルック」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 見たい<項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

使用量 (P.64~65)
お知らせ (P.64~65)
エネルック設定 (P.66~67)

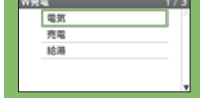
■1つ前の操作に戻るとき
→ メニュー/戻る 押す

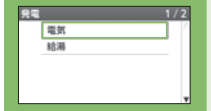
■終了・中止するとき
→ 今日の実績 エネルック 押す

4 <詳細項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

<項目>	<詳細項目>
電気やお湯のつくった量を見る W発電 発電 ・W発電表示設定「入」時(P.74~75)には「W発電」が「切」時には「発電」が表示されます。	電気 発電/売電※1/購入量を見るとき
	売電※1 太陽光発電の売電量とW発電効果を見るとき
	給湯 貯湯ユニットからの給湯量を見るとき
省エネした量でエコ貢献度を見る エコ	CO₂削減量 CO₂削減量(W発電)※1 削減量を森・木・葉の本数換算で見るとき
	自給率 電気や給湯の自給率を見るとき





(64ページにつづく)

5 <詳しい内容>を見る

▼ ▲

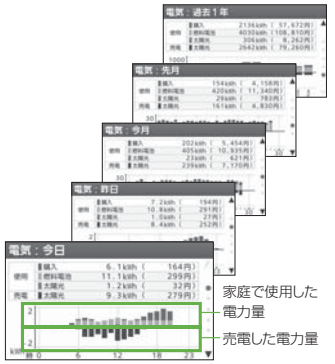
<詳しい内容>

電気
- 今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年
  - 電力が少ないと、表示しない場合があります(グラフが消えているように見えることがあります)。
  - 季節によって、発電時間は変動します(水温やお湯の使用量などが影響します)。

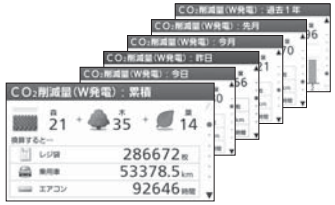
売電※1
- 今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年
  - エネファームで発電することによって増える売電量が、W発電効果となります。

給湯
- 今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年
  - 貯湯ユニットから供給した量(貯湯)と、バックアップ熱源機で沸かした量(燃焼)を表示します。
  - 給湯量は、水道水の毎月の水温から、通年40℃で給湯する条件で計算しています(東京都水道局の毎月の公表値(平成16 年度~21 年度の平均値))。

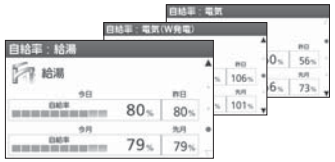
(画面例：電気)



CO₂削減量
- 累積↔今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年
  - CO₂削減量を、森・木・葉で表現しています(P.61)。



自給率
- 電気↔電気(W発電)※1↔給湯
  - 電気の自給率は、ご家庭で使用した電気のうち、エネファーム(またはW発電)の電気を利用した割合を表します。
  - 給湯の自給率は、ご家庭で使用したお湯のうち、貯湯タンクにたまったお湯を利用した割合を表します。
  - 電気(W発電)では、太陽光発電の売電量も含むため、100%を超えることがあります。
  - 今日と今月の自給率は、それぞれの計算に使用する数字の桁数が異なるため、毎月初めの1日に、今日と今月の自給率の値が異なることがあります。



※1 W発電表示設定「入」時(P.74~75)のみ表示

エネルックで見る（つづき）

台所リモコン　浴室リモコン

●エネルックで、CO_2削減量や使用量などを見ることができます。

1 「今日の実績/エネルック」を開く

2 「エネルック」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 見たい<項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

W発電 (P.62~63)
発電 (P.62~63)
エコ (P.62~63)
エネルック設定 (P.66~67)

■1つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

■終了・中止するとき

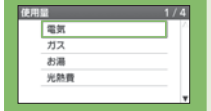
→ 今日の実績 エネルック 押す

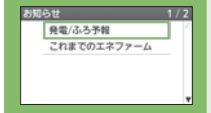
（62ページからつづく）

4 <詳細項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

<項目>	<詳細項目>
電気やガスなど使った量を見る 使用量	電気 電気使用量の実績値と目標値やその差を見るとき
	ガス ガス使用量の実績値と目標値やその差を見るとき
	お湯（水道） お湯（水道）使用量の実績値と目標値やその差を見るとき（F電力測定ユニット（別売品）を接続時は、「水道」と表示されます）
	光熱費 光熱費を見るとき
これからの予定、これまでの運転量を見る お知らせ	発電 / ふろ予報 次回の発電予定時刻と、「お湯はり」や「入浴」などお湯を多く使うおすすめ時刻を見るとき
	これまでのエネファーム これまでの発電時間・発電電力量・発電金額・使用期間の累積値を見るとき





5 <詳しい内容>を見る

▼ ▲

<詳しい内容>

電気

目標達成※1→今日↔昨日↔今月↔先月↔過去1年
- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます（P.66~67）。
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は1 kWh/時間、24 kWh/日です。

目標達成に関する画面を表示します。※1

（画面例:電気目標達成）

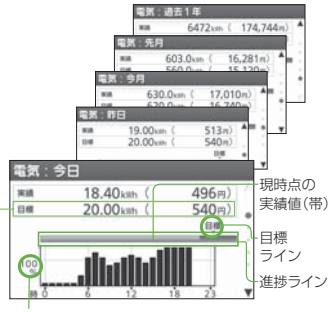
ガス

目標達成※1→今日↔昨日↔今月↔先月↔過去1年
- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます（P.66~67）。
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は0.5 m^3/時間、12 m^3/日です。

お湯（水道）

目標達成※1→今日↔昨日↔今月↔先月↔過去1年
- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます（P.66~67）。
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は0.05 m^3/時間、1.2 m^3/日です。

目標設定（P.66~67）を行わないと表示しません。

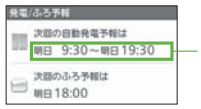


現時点の実績値（帯）
目標ライン
進捗ライン
"100%"は目標値を表し、目標値を変えても数字は変わりません。

光熱費

今日↔昨日↔今月↔先月↔過去1年
- 光熱費は、購入電気・ガス・お湯の合計です。何を含むかは、「エネルック設定」で設定できます（P.66~67）。
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は57.5円/日、1,380円/月です。

発電 / ふろ予報



次回の自動発電の予定時刻（目安）

- 時刻の表示は、
  →発電開始時刻 :1時間刻み（起動中は15分刻み）
  →発電終了時刻 :15分刻み
  →ふろ予報 :1時間刻み（予約すると10分刻み）
- 発電モードや発電禁止時刻の設定を変更した直後は、発電を禁止した時間帯が、発電予報に反映されていないことがあります。ただし、禁止した時間帯には発電しません。
- 発電予報で発電予定がない場合は、「次回の自動発電予報はありません」と表示します。
- 発電予報が、ご希望の発電時刻と大きく違うときは、「予約発電」にすることをおすすめします（P.48~49）。
- 電気やお湯の使用状況が、予測と異なる場合、当日中に、発電予報が変化することがあります。
- ふろ予報では、ふろを初めて使うとき、しばらく使っていないとき、予報時刻を過ぎたときなど、「次回のふろ予報はありません」と表示することがあります。
- ふろ予報は、過去に多くのお湯を使った時刻から算出しています。この時刻がお客さまの予定と大きく異なる場合は、「予約発電」や「手動発電」で、お湯を使う予定時刻にお湯がたまるような発電にすることをおすすめします。
- ふろ予約をすると、ふろ予報時刻がふろ予約時刻の表示に変わります。

これまでのエネファーム

- 使用期間は、燃料電池ユニットの電源を「入」にしてからの期間です。
- 発電電力の一部を使って、お湯をつくることがあり、発電電力量には、この電力量も含みます。

※1 工場出荷時から目標値を変更していないときは、表示しません。目標達成表示は、約5秒後に自動的に「今日」の表示に変わります。

エネルックの設定を変える

台所リモコン

●エネルックに関する設定を変更できます。

1 「今日の実績/エネルック」を開く

2 「エネルック」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 「エネルック設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 変えたい<設定項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■1つ前の操作に戻るとき
→ メニュー/戻る 押す

■終了・中止するとき
→ 今日の実績 エネルック 押す

<設定項目>

電気料金・目標設定
ガス料金・目標設定
水道料金・目標設定
電気、ガス、水道に関して、各ご家庭に合わせて料金単価や1か月の目標を設定できます。

料金単価を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

・1回押すと1円ずつ、押し続けると10円ずつ変わります。
・料金を非表示にするときは、1円の状態で「▼」を押します。

＊工場出荷時は、電気27円、ガス130円、水道200円

目標値を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

・目標値は、運転には反映されません。

光熱費設定
光熱費の表示に、電気・ガス・水道(お湯)を算入するかを設定できます。

各料金の算入「する」「しない」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

・「確定」を押すと、次の設定項目へ移ります。

＊工場出荷時は、電気「する」、ガス「する」、水道「しない」

・W発電表示設定「入」時 (P.74〜75)のみ表示

売電料金設定
余った電気の売電料金の料金単価を、ご家庭に合わせて設定できます。

料金単価を変え、確定する

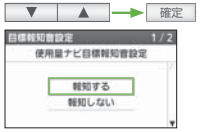
▼ ▲ → 確定

＊工場出荷時は30円

目標報知音設定
目標値を設定しているときのお知らせ音を入／切できます。

お好みの設定を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



・エネルックの使用量で、電気、ガス、お湯(水道)のいずれかの目標値画面が表示されたときに、音でお知らせします(目標値を設定していないときは、画面が表示されず、目標報知音も鳴りません)。
昨日の使用量が、目標値より少ないとき→「ポロポロポロロ♪」
目標値より多いとき→「ポロロロロ…↘」
でお知らせします。

＊工場出荷時は「報知する」

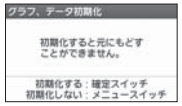
グラフ、データ初期化
エネルックに記録されたグラフ、データを消去します。

「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

(初期化を)確定する

確定



・キャンセルするときは、
→ メニュー/戻る 押す

設定メニュー一覧

●メニュー／戻るスイッチ メニュー/戻る で設定できる内容の一覧です。詳しい説明は、各参照ページをご覧ください。

メニュー	設定項目		設定できる内容
おふろの設定を変える ふろ設定	●ふろ予約 ※1	(P.28)	ふろ自動を予約します。
	●ふろ温度設定	(P.29)	ふろ自動のお湯の温度を変えられます。
	●ふろ湯量設定	(P.29)	ふろ自動のお湯の量を変えられます。
	●温浴運転 ※2	(P.32～33)	温浴(マイクロバブル浴)の運転を入／切します。
	●ふろ保温時間設定	(P.70～71)	ふろ自動後の、保温時間を変えられます。
	●ふろ配管自動洗浄設定	(P.70～71)	お湯を抜くたびに、配管にお湯を流して洗浄する／しない
	●浴槽データクリア	(P.70～71)	記憶している浴槽データをクリアする／しない
水をたす たし水	●たし水 ※2	(P.31)	浴槽に水をたします。
暖房の設定を変える 暖房設定	●浴室暖房運転	(P.36)	浴室暖房を入／切します。
	●浴室暖房予約	(P.37)	浴室暖房予約を入／切します。
	●ふろ自動連動	(P.27)	ふろ自動と浴室暖房を連動して運転する(入)／しない(切)
	●暖房運転 ※1	(P.38)	端末機器側で操作できない暖房を入／切します。
	●暖房予約 ※1	(P.40～41)	端末機器側で操作できない暖房の予約を入／切します。
	●暖房予約時刻設定 ※1	(P.40～41)	端末機器側で操作できない暖房の予約時刻を設定します。
	●静音運転設定 ※1	(P.39)	暖房の運転音が気になるとき、音を抑えて暖房運転する(入)／しない(切)
停電時の発電などの設定を変える (停電時発電継続機能付き、または停電時発電機能オプションなど接続時のみ) 停電設定	●停電発電モード設定 ※1	(P.57)	停電時に発電をする(入)／しない(切)
	●浴室排水設定	(P.57)	浴室に自動でお湯を排水する(入)／しない(切)
	●浴室排水報知音設定	(P.57)	浴室排水時に報知する音を入／切します。

メニュー	設定項目		設定できる内容
リモコンの設定を変える リモコン設定	●音声案内	(P.72～73)	リモコンの音声案内を変えたり、入／切します。
	●案内音量	(P.72～73)	リモコンの音声案内の音量を変えます。
	●浴室モニター ※1	(P.35)	台所リモコンから浴室の様子を聞くことができます。
	●浴室モニター禁止 ※2	(P.35)	台所リモコンから浴室の様子を聞かれないようにします。
	●発電報知音設定 ※1	(P.72～73)	発電開始時や、貯湯タンクにお湯が5目盛りたまったときの音を入／切します。
	●発電ランプ設定 ※1	(P.72～73)	発電中のランプ表示を入／切します。
	●表示節電設定	(P.72～73)	しばらく操作しないと自動的にリモコンの表示を消す(入)／消さない(切)
	●日付／時刻設定 ※1	(P.72～73)	日付と時刻を設定します。
	●リモコン設定初期化	(P.72～73)	「リモコン設定」を工場出荷時の設定に戻す／戻さない
さまざまな設定を変える その他設定	●契約アンペア設定 ※1	(P.74～75)	ご家庭の契約アンペアに合わせて設定をします。
	●W発電表示設定 ※1	(P.74～75)	太陽光発電に関する表示の設定を入／切します。
	●満タン停止抑制設定※1	(P.74～75)	満タン停止抑制運転の設定を入／切します。
	●機器の水抜き	(P.80～81)	燃料電池ユニットや貯湯ユニットの水抜きをします。
	●機器の水はり	(P.82～83)	燃料電池ユニットや貯湯ユニットの水はりをします。
	●ネットワーク設定 ※1	(P.74～75)	ネットワークへの接続をする／しない
	●発電設定初期化 ※1	(P.74～75)	発電設定を、工場出荷時の状態に戻す／戻さない
	●学習リセット ※1	(P.74～75)	学習したご家庭の使用状況などを消去する／しない

※1 台所リモコンのみ操作できます。
※2 浴室リモコンのみ操作できます。

ふろの設定を変える

台所リモコン　浴室リモコン

●おふろに関する設定を変更できます。

1 「切」にする

給湯・ふろ切/入

2 メニューを開く

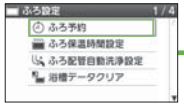
メニュー/戻る

3 「ふろ設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 変えたい＜設定項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



ふろ予約 (P.28)

■ 1つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

＜設定項目＞

ふろ保温時間設定

ふろ自動(P.26)やふろ予約(P.28)でお湯はり後の保温時間を変えるとき

→ 保温時間を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

・設定できる保温時間は、0、1、2、4、6、8時間です。

＊工場出荷時は4時間

ふろ配管自動洗浄設定

ふろ自動やふろ予約でお湯はりした後に浴槽のお湯を抜くと、ふろ配管内に残っていたお湯が循環アダプターから自動的に排出される機能を入／切するとき

→ 給湯・ふろスイッチを「入」、ふろ自動スイッチを「切」にして、浴槽のお湯を抜くと、ふろ配管自動洗浄がはたらきます。

→ 「する」「しない」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

・ふろ配管自動洗浄を「する」にしていても、下記の場合は洗浄しません。

・ふろ自動中、おふろが沸き上がる前に、ふろ自動を「切」にしたとき

・もともと浴槽の水位が低い(循環アダプター上端から約5 cm以下)とき

・排水配管のゴミ詰まりなどにより、排水時間が長いとき

・ふろ自動を「切」にした直後で、まだポンプが回っている(循環アダプターからまだお湯が出ている)ときに、浴槽の排水栓を抜いたとき

・ふろ設定温度によっては熱いお湯が出ますので、やけどにご注意ください。

・排水栓を抜かなくても、浴槽の水をくみ出すなどして水位が循環アダプター上端より約5 cm上の位置(浴槽や使用状況などにより若干異なります)まで下がると、機器がふろ配管自動洗浄を開始します。

＊工場出荷時は「する」

浴槽データクリア

記憶している浴槽サイズデータ(お湯の量と水位の関係)をクリアするとき

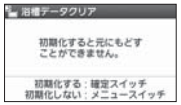
→ 増改築などで浴槽を買い替えた場合や貯湯ユニットの設置場所を移動した場合などに操作します。
また、ふろ自動で設定した湯量にならない場合も、この操作をしてください。

→ 「はい」「いいえ」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

→ 確定する

確定



・キャンセルするときは

→ メニュー/戻る 押す

・浴槽データをクリアした後は、下記の手順に従って、ふろ自動運転の試運転を行い、新たに浴槽サイズデータを機器に記憶させてください。

浴室リモコンで操作します。

①浴槽の残り湯をすべて排出する

・残り湯がある状態で以下の操作を行うと、その後のお湯はり時間が長くなったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

②浴槽の排水栓をしっかり閉じる

③ふろ自動スイッチを「入」にする(ふろ自動運転が始まります)

・ふろ自動運転中は、給湯栓から浴槽にお湯を入れないでください。また運転中に何回か停止しますが異常ではありません(試運転は約20～30分かかります)。

④お湯はりが完了して、保温表示が点灯することを確認する

→試運転完了です(ふろ自動スイッチを「切」にしてください)。

リモコンの設定を変える

台所リモコン　浴室リモコン

●リモコンに関する設定を変更できます。

1 メニューを開く

メニュー/戻る

2 「リモコン設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 変えたい＜設定項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

（台所リモコンの画面例）

浴室モニター (P.35)
浴室モニター禁止 (P.35)

■ 1つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

＜設定項目＞

（変えたリモコンのみ設定変更）
音声案内
音声案内方法を変える／消すとき

（変えたリモコンのみ設定変更）
案内音量
案内の音量を変えるとき

（台所リモコンのみ）
発電報知音設定
発電をお知らせする音などを出す／消すとき

（台所リモコンのみ）
発電ランプ設定
発電をお知らせするランプを点灯／消灯するとき

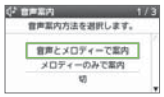
（変えたリモコンのみ設定変更）
表示節電設定
表示を消して節電するとき

（台所リモコンのみ）
日付／時刻設定
日付／時刻を設定するとき

（変えたリモコンのみ設定変更）
リモコン設定初期化
リモコン設定を工場出荷時の設定に戻すとき

音声案内

音声案内の種類を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



・設定できる音声案内は、「音声とメロディーで案内」「メロディーのみで案内」「切」です。
＊工場出荷時は「音声とメロディーで案内」

案内音量

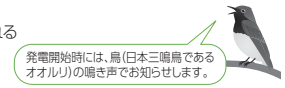
音量を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・設定できる音量は、レベル1から4までです。
＊工場出荷時はレベル2

発電報知音設定

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・発電開始時や、貯湯タンクにお湯が5目盛りたまったときに、お知らせします。
・条件によっては、発電予報の時刻とずれることがあります。
＊工場出荷時は「入」



発電ランプ設定

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

＊工場出荷時は「入」

表示節電設定

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・リモコンやお湯を使っていないときは、約30分後に表示が消灯します。ただし、給湯温度50℃以上、ふろ自動中、追いだき中、たし湯中、たし水中、温浴中（マイクロバブル浴中）、バックアップ熱源機の燃焼動作中、出湯中、浴室モニター中、凍結予防動作中、ダイヤログ（ポップアップ画面）表示中、故障表示中、点検マーク表示中は画面は消灯しません。
＊工場出荷時は「入」

日付／時刻設定

年・月・日・時刻を合わせ、確定する ▼ ▲ → 確定（都度）

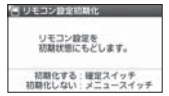
・1回押すと1（年・月・日・分）ずつ変わり、押し続けると早送りします。
・停電後または燃料電池ユニットの電源プラグ（ブレーカーの場合もあります）を抜いた後、再通電させると、約10 秒後には、日付、時刻とも復旧します。
・設定した時刻は、浴室リモコンにも同時に反映されます。
・設定した日付・時刻によっては、保護動作（P.46）を行うことがあります。
・Fネットアダプタ（別売品）、Fエコーネットライトアダプタ（別売品）接続時には、日付／時刻合わせは自動で行われ、リモコンでの設定はできません。

リモコン設定初期化

「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・設定を初期化すると、元に戻すことはできません。
・音声案内、案内音量、発電報知音設定、発電ランプ設定、表示節電設定、浴室モニター音量が初期化され、工場出荷時設定に戻ります。

確定する 確定



・キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

その他の設定を変える

台所リモコン

●さまざまな設定を変更できます。

1 メニューを開く

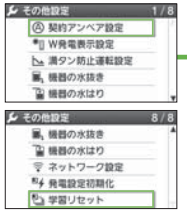
メニュー/戻る

2 「その他設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

3 変えたい＜設定項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



機器の水抜き (P.80~81)
機器の水はり (P.82~83)
・「機器の水抜き」「機器の水はり」は、給湯・ふろスイッチを「切」にしていないとメニューに表示されません。

■ 1つ前の操作に戻るとき
→ メニュー/戻る 押す

＜設定項目＞

Ⓐ 契約アンペア設定
契約アンペアの設定を変えるとき

→ 契約アンペア値を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・契約アンペア値は、家庭用燃料電池対応分電盤のサービスブレーカー(P.23)で確認してください。サービスブレーカーがない場合は「設定なし」に設定してください。
・設定できる契約アンペア値は、「30A」「40A」「50A」「60A」「設定なし」です。
・30 A以下の場合は「30A」、60 Aを超えるときは「設定なし」に設定してください。
・正しく設定しないと、発電が行われなかったり、機器が壊れるおそれがあります。
・サービスブレーカーを交換した場合も契約アンペア値を再設定してください。
＊工場出荷時は「30A」

W発電表示設定
太陽光発電に関する表示の設定を変えるとき

→ 「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

「入」:太陽光発電の電力を表示させるセンサーを取り付けている場合
「切」:太陽光発電の電力を表示させるセンサーを取り付けていない場合
・太陽光発電と併設していて、太陽光電流センサーセット(別売品)がない場合、W発電表示設定を「入」にしても、太陽光発電の発電電力は表示しません。
＊工場出荷時は「切」

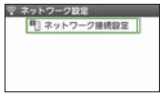
満タン停止抑制設定
貯湯タンクが満タンになって、発電が停止することを抑制して発電するとき

→ 「する」「しない」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

・満タン停止抑制運転は、貯湯タンクが満タンになって発電が停止しないように、発電電力を下げて、できるだけ長く発電を行う設定です。太陽光発電とのW発電をしていて、昼間に発電電力を下げることによって、電力会社への売電量を下げたくない場合などは、「しない」に設定してください。
＊工場出荷時は「する」

ネットワーク設定
HEMSなどのネットワーク連携を行うとき
→別売のネットワーク機器が必要です。

→ 「ネットワーク接続設定」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



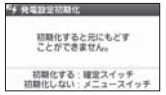
→ 「接続する」「接続しない」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

＊工場出荷時は「接続しない」

発電設定初期化
発電の設定をリセットするとき

→ 「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

→ (初期化)確定する 確定

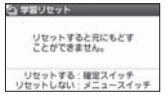


・「発電設定初期化」で初期化できる項目は、契約アンペア設定、発電モード設定、予約発電時刻設定(P.48~49)、発電禁止時刻設定(P.50~51)です。
・キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

学習リセット
これまで学習したご家庭の電気やお湯の使用状況のデータを消去するとき

→ 「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定

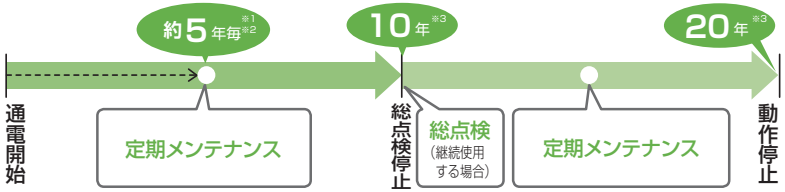
→ (リセット)確定する 確定



・学習リセットをしても、「エネルック」の表示はリセットされません。
・「自動発電」の場合、学習リセットを行った当日は、学習リセットする直前の学習に基づく運転をします。
翌日から約1週間は、午前8時に発電を開始し、自動的に発電を停止します。
・キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

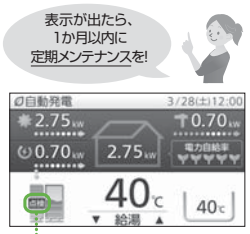
取扱説明書
NA-0715ARS-KB/ NA-0715ARS-KTB
NA-0715ARS-K/ NA-0715ARS-KT
NAFT-C15ARSAWC
01
レベルB

定期メンテナンス、総点検停止と動作停止について



■発電電力量14,438 kWh（約5年※1※2）ごとに

定期メンテナンスが必要です。
→消耗部品などを交換します。
定期メンテナンスを受けないと、燃料電池ユニットが停止します。



約1か月前から
「点検」を点滅表示

- 確定 押す →警告表示:04F0またはD0F0

■停止すると →故障表示:05F0またはD1F0

※1 年数はお客さまの電気やお湯の使用量により変わります(最長7年)。
※2 NA-0715ARS-KTB、NA-0715ARS-KTは、11,550kWh(約4年)となります。

■「10年※3」または「発電時間7万時間+3か月※3」の早い方で

燃料電池ユニットが停止(総点検停止)します。

3か月前から
「総点検停止まで約○か月」を点滅表示

2週間前から
「総点検停止まで間近です。」を点滅表示

- 確定 押す → 警告表示:06F0

■停止すると→ 故障表示:07F0

※3 20年、10年および3か月は、燃料電池ユニットへの累積通電時間で判断しています。

■20年※3で

燃料電池ユニットが完全に停止(動作停止)します。

6か月前から
「動作停止まで約○か月」を点滅表示

2週間前から
「動作停止まで間近です。」を点滅表示

- 確定 押す → 警告表示:08F0

■停止すると→ 故障表示:09F0

「燃料電池は完全に動作停止しました。熱回収バルブを閉止し、お買い上げの販売店等へ連絡してください。」を表示し続けます。

お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者に連絡してください。

- 定期メンテナンス後は、これまで通り使用できます。

- 燃料電池ユニット停止後は、買い替えをおすすめします。
継続使用する場合は、総点検と以降の定期メンテナンスが必要です(費用はお買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご確認ください)。

- 燃料電池ユニット停止後は、以下の処置を行ってください。
1. 燃料電池ユニット専用ブレーカーを「切」にする(P.17)
→故障表示:09F0
2. 燃料電池ユニットのガス栓、貯湯ユニットの熱回収低温バルブ、熱回収高温バルブを閉じる(P.16)
3. お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者に連絡する

＊ 燃料電池ユニット停止後は、燃料電池ユニットのみ継続使用できません。

お知らせ
- 燃料電池ユニットが停止した後も、リモコンに故障表示が残りますが、給湯・暖房・おふろは使用可能です。

お手入れする

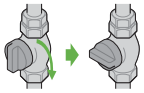
準備

機器のお手入れや点検をする前に、下記の準備をし、必ず機器が冷えてから行ってください。

1 「発電切」にする(P.48〜49)
- 完全に発電が停止するまでお待ちください。最長約90分間かかります。

2 給湯・ふろ 切/入 「切」にする

3 燃料電池ユニットと貯湯ユニットのガス栓を閉める(P.16)



- お手入れや点検後は、燃料電池ユニットと貯湯ユニットのガス栓を開け、発電モード設定を元に戻してください。

汚れが気になったとき

■機器本体の外装

- 機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落とした後、十分に水気をふき取ってください。
特に汚れがひどいときには、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を使用してください。

台所用中性洗剤
(食器・野菜洗い用)

■リモコンの表面

- 表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しないでください。
- 台所リモコンに水しぶきをかけたり、浴室リモコンに故意に水をかけたりしないでください(故障の原因)。

塩素系のカビ洗浄剤

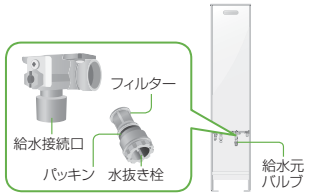
酸性の浴室用洗剤

水の出が悪くなったとき

■ 給水接続口の水抜き栓

給水接続口の水抜き栓のフィルターに、ゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります(高温になっていることがあるため、必ず左記の「準備」を行い、終了後は元に戻してください)。

1 給湯・ふろ 切/入 「切」にする
2 貯湯ユニットの配管カバーを外す(P.22)
3 貯湯ユニットの下に水受け用に容器を置く
4 給水元バルブを閉める
5 給湯栓を開けて、再び閉める
6 給水接続口の水抜き栓を外して、フィルターを掃除し、元に戻す



①左に回して外す
- 熱いお湯が出ることがあります。

警告 お湯に触れない(やけどの原因)

②フィルターについているゴミを取り除く
- フィルターが外れた場合、パッキンをなくさないように注意してください。

③元どおり取り付ける

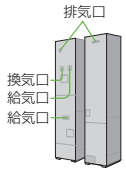
7 給水元バルブを開ける
8 給水接続口の水抜き栓の周囲に水漏れがないか確認する
9 貯湯ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける(P.22)

点検する

日常的に

■本体と設置状況の点検

- ☐ 機器や排気口の周りに、洗濯物や新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか?
  →燃えやすいものを置かないでください。
- ☐ 排気口や給気口、換気口が、ほこりなどでふさがっていないか?
  →掃除してください。
- ☐ 排気口にススがついていないか?
- ☐ 機器外観に異常な変色や傷はないか?
- ☐ 機器外装の下部周辺などに、サビや穴開きはないか?
- ☐ 機器・配管から水漏れはないか?
- ☐ 配線に損傷はないか?
- ☐ 配管カバーやフロントカバーが確実に固定されているか?
- ☐ 運転中に機器から異常音が聞こえないか?
  異常な振動はないか?
  異常な臭いはないか?
  (発電中に確認してください)



●異常があれば
→「故障かな?」(P.88～99)を確認してください。
(それでも直らない場合)
→お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。

月に2～4回

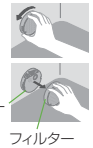
■浴槽の循環アダプター(フィルター)

- フィルターの形状は、異なることがあります。
- お手入れ後は、元どおり確実に取り付けてください(故障の原因)。
- フィルター以外は外さないでください。

1 給湯・ふろ 切/入 「切」にする

2 フィルターを外す
(左に回す)

3 手前に引いて循環アダプター本体から取り外す



4 ブラシなどで掃除する
(フィルター正面と側面の裏面)
- 金属などの固いブラシは使わないでください。

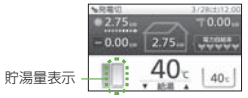
5 ▼を合わせてはめ込み、右に回して固定する
(「カチッ」と止まるまで)

年に2～3回

■貯湯タンク

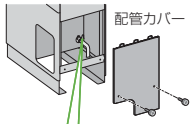
水道水に含まれていた固形物が、貯湯タンクに沈殿していることがあるため、貯湯タンク底部の水を入れ替えて沈殿物を流し出します。
- 高温になっていることがあるため、必ず「準備」(P.77)を行い、終了後は元に戻してください。

1 貯湯量表示の目盛りが2以下を確認する
- 3以上のときは給湯温度を40℃に設定し、給湯栓を開いてお湯を減らしてください。



2 貯湯ユニットの電源を「切」にする
(P.21)
- リモコンにエラーが表示されますが、異常ではありません。

3 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す
- ねじ(2か所)を外して取り外してください。



4 貯湯ユニットの排水バルブを全開にし、排水する

警告 お湯に触れない(やけどの原因)

→2分後に閉める

5 配管カバーを元どおり取り付け、貯湯ユニットの電源を「入」にする
(P.21)

凍結を防ぐ

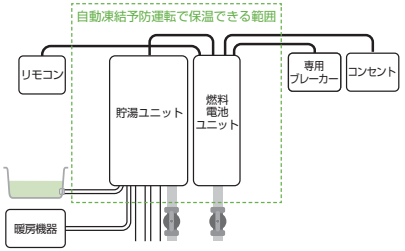
- 凍結により機器が破損したときの修理は、製品保証の対象外になります。
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して、破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。

通常の寒さの場合:「自動凍結予防運転」をする

次の準備をしておくと、自動で凍結予防運転(凍結予防ヒーターとポンプ運転)を行います。
- 凍結予防運転中は、リモコンに動作表示(P.18)し、ポンプの運転音がする場合があります。また、リモコンに燃焼表示が点灯する場合があります。
- 自動凍結予防運転中でも、給湯、暖房、発電等の機能は利用できます。

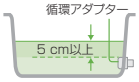
■準備

1 燃料電池ユニット、貯湯ユニットのシステム電源を「切」にしない
- リモコンの給湯・ふろスイッチの「入」「切」に関係なく、自動で運転します。



2 燃料電池ユニットと貯湯ユニットのガス栓、貯湯ユニットの給水元バルブ・熱回収低温バルブ・熱回収高温バルブを閉めない
- 全開にしておきます。

3 循環アダプター(浴槽)の上部より、5 cm以上水をはっておく
- 水がないとポンプが空運転し、大きな音が出ることがあります。



お知らせ
- 給水や給湯配管、排水・オーバーフロー配管、給水元バルブなどは凍結予防できません。
- 必ず保温材や電気ヒーターを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。
- 分かりにくいときは、お買い上げの販売店やガス事業者にご確認ください。

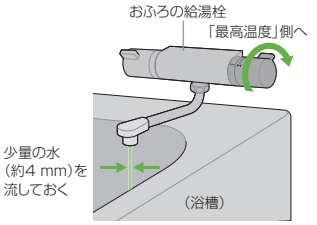
外気温が−15℃以下の場合や風がある場合:「通水」をする

「自動凍結予防運転」(上記)に加え、少量の水を流したままにして予防を強化します。

1 給湯・ふろ 切/入 「切」にする

2 おふろなどの給湯栓を「最高温度」側にし、1分間に約0.4 Lの水を流したままにする
- 再使用時の温度設定にご注意ください(サーモスタット式混合水洗、シングルレバー式水栓の場合)。

3 約30分後、水量を確認する
(流量が不安定になっていなければOK)



上記の処置をしても、なお凍結のおそれがある場合:「水抜き」をする

貯湯ユニットと燃料電池ユニットの水抜きをする(P.80～81)

貯湯ユニットの水抜きをする

1 「発電切」にする
(P.48～49)
・発電が完全に停止するまでお待ちください(最長約90分間かかります)。

2 貯湯量表示で、お湯がないことを確認する

貯湯量表示
・お湯が残っている場合は、貯湯タンクのお湯を使い切ってください。
① リモコンで、給湯温度を40℃に設定し、給湯栓を開いて、お湯を出す
② 貯湯量表示が、ゼロになったら、給湯栓を閉じる

3 すべての暖房運転を「切」にする

4 給湯・ふろ 切/入 を「切」にする

5 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す
(P.22)

6 熱回収バルブを閉める

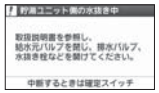
熱回収高温バルブ6
熱回収低温バルブ7
→ 閉める

7 給水元バルブを閉める

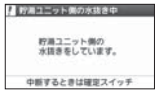
給水元バルブ1 → 閉める

8 抜いたお湯(水)を受けるための容器を用意する
(約10 Lのお湯が出ます)
・配管などが邪魔になって、大きな容器が置けない場合は、手順9-⑦の各水抜き栓から出るお湯(水)を受けるための容器を、用意してください。

9 貯湯ユニットのお湯(水)を抜く
・リモコンに、故障表示が点滅している場合は、P.100～101の処置を行ってください。
① 台所リモコン、または浴室リモコンの メニュー/戻る 押す
② 「その他の設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
③ 「機器の水抜き」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
④ 「貯湯ユニット側の水抜き」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
⑤ 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
⑥ 下記画面が表示される



排水バルブ2 → 全開
エアチャージ栓3 → 開ける
⑦ 下記画面が表示(約20分間)されたら、以下の操作を行う



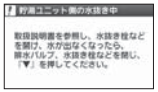
給水水抜き栓4
過圧防止安全装置5
(水抜き栓)
→ 開ける
準備しておいた容器で水を受ける
⑧ 機器のフロントカバーに貼っているラベルで、不凍液が入っているかどうかを確認する

<不凍液が入っている場合>
⑨の操作は必要ありません。
⑩以降の操作で水抜きをしてください。

⑨ 暖房回路の水抜きを行う
暖房回路の水抜き栓8 → 開ける
＊熱いお湯が出ることがあります。

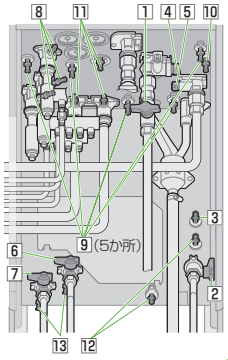
⚠警告
お湯に触れない
(やけどの原因)

⑩ 循環回路、中和器の水抜きを行う
循環回路の水抜き栓9
中和器の水抜き栓10
→ 開ける
⑪ 下記画面が表示(約15分間)されたら、以下の操作を行う



ふろ回路の水抜き栓11
循環回路の水抜き栓12
熱回収回路の水抜き栓13
→ 開ける
⑫ 循環回路の水抜き栓12、熱回収回路の水抜き栓13から水が出なくなることを確認できたら、以下のバルブ、水抜き栓を閉め、
リモコンの ▼ を押す
排水バルブ2
エアチャージ栓3
給水水抜き栓4
過圧防止安全装置5
(水抜き栓)
暖房回路の水抜き栓8
循環回路の水抜き栓9
中和器の水抜き栓10
ふろ回路の水抜き栓11
循環回路の水抜き栓12
熱回収回路の水抜き栓13
→ 閉める

貯湯ユニット



●水抜きは貯湯ユニット→燃料電池ユニットの順に行ってください。

燃料電池ユニットの水抜きをする

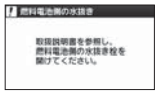
1 すべての暖房運転が「切」、給湯・ふろ 切/入 が「切」になっていることを確認する

2 燃料電池ユニットの配管カバーを取り外す
(P.22)

3 燃料電池ユニットのガス栓を閉める

4 燃料電池ユニットの下に大きめの容器を置く
(約4 Lのお湯が出ます)

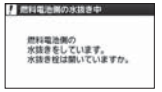
5 燃料電池ユニットの水(お湯)を抜く
① 台所リモコン、または浴室リモコンの メニュー/戻る 押す
② 「その他の設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
③ 「機器の水抜き」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
④ 「燃料電池側の水抜き」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
⑤ 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定
⑥ 右記画面が表示される



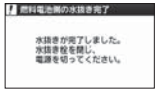
水抜き栓(2か所)ア
→ゆっくりと緩める
＊熱いお湯が出ることがあります。

⚠警告 お湯に触れない
(やけどの原因)

⑦ 以下の順に緩めて取り外す
❶ 貯湯ユニットの
循環回路の水抜き栓12
熱回収回路の水抜き栓13
❷ 燃料電池ユニットの
エア抜き栓イ
フィルターウ
・燃料電池ユニットのエア抜き栓より、先にフィルターを緩めると、水が残り、凍結のおそれがあります。
⑧ 右記画面が約25分間表示される



⑨ 水抜きが完了すると、右記画面が表示される



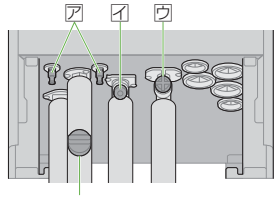
❶ 燃料電池ユニットの
水抜き栓(2か所)ア → 閉める
エア抜き栓イ
フィルターウ
→ 取り付けて閉める
❷ 貯湯ユニットの
循環回路の水抜き栓12
熱回収回路の水抜き栓13
→ 取り付けて閉める

6 燃料電池ユニット、貯湯ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける
(P.22)

7 燃料電池ユニット、貯湯ユニットのシステム電源を「切」にする
(P.21)

お知らせ
・水抜き後、再使用するときは
P.82～83の「水はり」を行ってください。

燃料電池ユニット



ガス栓

水抜き後、再使用するとき

水はり

●水はりが完了するまで、暖房運転を行わないでください。

(再使用時)貯湯ユニット、燃料電池ユニットの水はりをする

1 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す
(P.22)

2 貯湯ユニットのすべての栓などが閉まっていることを確認する

給水元バルブ 1
排水バルブ 2
給水水抜き栓 3
過圧防止安全装置(水抜き栓) 4
エアチャージ栓 5
非常時水取出し栓 6
水抜き栓(15か所) 7
→ 閉まっていることを確認

3 貯湯ユニットのガス栓を全開にする

4 貯湯ユニットの熱回収バルブを開ける

熱回収高温バルブ 8
熱回収低温バルブ 9
→ 開ける

5 燃料電池ユニットの配管カバーを取り外す
(P.22)

6 燃料電池ユニットのすべての栓などが閉まっていることを確認する

水抜き栓(2か所) ア
エア抜き栓 イ
フィルター ウ
→ 閉まっていることを確認

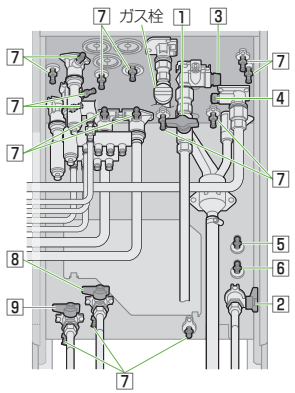
7 燃料電池ユニットのガス栓を全開にする

8 燃料電池ユニット、貯湯ユニットのシステム電源を「入」にする
(P.21)

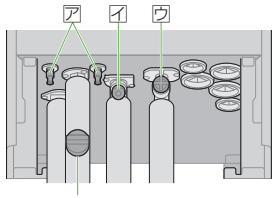
9 すべての給湯栓が閉まっていることを確認する

10 浴槽の排水栓を開ける

貯湯ユニット



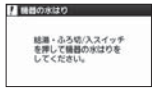
燃料電池ユニット



11 機器の水はりをする
(燃料電池ユニットと貯湯ユニットを同時に水はりします)

① 台所リモコン、または浴室リモコンの 給湯・ふろ切/入 を「入」にする

② 右記の表示を確認し 給湯・ふろ切/入 を押す
→「切」になる



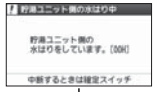
・上記表示が出ない場合は 給湯・ふろ切/入 を「切」にして、メニューより「その他設定」→「機器の水はり」を選択してください。

・条件によっては、水はりができない場合があります。このときは画面に表示されるので、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者に連絡してください。

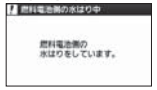
③「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

12 下記の画面が表示されたら、貯湯ユニットの給水元バルブを全開にする

① 給水元バルブ 1 → 全開にする



自動で切り替わります。

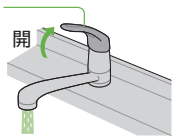


・約40分間以上表示されます(給水圧力によって異なります)。
・浴槽の循環アダプターから排水します。このとき、ボコボコという音がしますが、異常ではありません。

② 画面表示が消えていることを確認する

13 給湯栓を開き、水が出ることを確認して閉める

・燃料電池ユニット、貯湯ユニット、および配管から水漏れがないか確認する



14 燃料電池ユニット、貯湯ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける
(P.22)

15 発電モードを「自動発電(おまかせ・発電優先・お湯優先・昼間優先)」または「予約発電」のいずれかに設定する
(P.48~49)

長期間使わないとき

●長期保管する場合は、以下の要領(燃料電池ユニット・貯湯ユニット共通)に従ってください。
●凍結による修理は、製品保証の対象外となります。

期　間	電源	凍結のおそれ	水抜き	再使用時
1か月未満	入	無	行わない	・通常通り使用する(お湯を使うと、保管期間に応じて自動で水質維持のための沸き上げ運転(P.46)をすることがあります)
		有※		
	切	無	不要	
		有	要(P.80～81)	・機器の水はりをする(P.82～83)
1か月以上	入	無	行わない	・貯湯ユニットの水抜き(P.80)、機器の水はり(P.82～83)を行う
		有※		
	切	有/無	要(P.80～81)	・機器の水はりをする(P.82～83)

・凍結のおそれ「有」で、水抜き「行わない」(※部)は、凍結予防運転のため、以下のバルブを開けたままにしておいてください。

燃料電池ユニット　：ガス栓
貯湯ユニット　　：ガス栓、給水元バルブ、熱回収低温バルブ、熱回収高温バルブ

お願い
・保管期間は、1年以内にしてください(システムが正常に動作しなくなる場合があります)。
・1年を超えた場合は、お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者にご連絡ください。

停電/断水/ガス停止のとき

●発電中に停電/断水/ガス停止になると、1日1回の発電制限により復旧後に発電できない場合があります。

症状		処置	再使用時
停電のとき	停電時発電継続機能付き →P.52～57	・P.54～57の操作を行う	・**「停電時専用コンセント」に接続した電気機器のプラグを直ちに取り外す** ・給湯・ふろスイッチが「切」になります。 ・停電前の発電モードに戻ります。 ・浴室排水設定は「切」、浴室排水報知音設定は「入」(工場出荷時設定)に戻ります。
	停電時発電継続機能なし ・すべての運転が停止します(水は出ます)	・給湯栓を閉じる	・通常通り使用する
断水のとき	・給湯・シャワーは止まります ・暖房・ふろ(お湯はり・追いだき)が止まります(故障表示が点滅) ・故障表示(260)が出ることがあります	・給湯栓・給水栓を閉じる ・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする ・「発電切」にする(P.48～49) ・故障表示が出て、「こんな表示が出たら」(P.100～102)の処置を行ってもなおらないときは、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者に連絡する	(給湯・ふろスイッチを「切」にしたまま) ・給水栓を開け、汚れた水を十分流してから使用する ・「(自動発電)おまかせ」または「予約発電」のいずれかに設定する(P.48～49) ・故障表示「260」が出たときは ①リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする ②再度「入」にする 断水が復旧すると「260」が消えます。
ガス停止のとき	・燃料電池ユニットの故障表示が出ます ・すべての運転が停止します(水は出ます) ・故障表示が点滅することがあります	・給湯栓を閉じる ・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする ・すべての温水暖房端末の運転スイッチを「切」にする	・通常通り使用する ・故障表示「A8F0」が出たときは、「こんな表示が出たら」(P.102)の処置を行い、燃料電池ユニットの運転を再開する
事前に分かっているとき(工事などで)停電・断水・ガス停止が	停電時発電継続機能付き(停電の場合)	・停電が事前に分かっている場合、停電予定の前日までに「予約発電」の設定により、停電予定時刻の2時間前に発電を行い、停電のときと同じ処置を行う	・停電のとき と同じ処置を行う
	停電時発電継続機能付き(断水、ガス停止の場合) 停電時発電継続機能なし(停電、断水、ガス停止の場合)	・あらかじめ(最低90分前に)、「発電切」にする(P.48～49)(故障を防ぐため)	・供給再開後は、「(自動発電)おまかせ」または「予約発電」のいずれかに設定する(P.48～49)

災害のとき

- 災害で断水したときに、貯湯タンクのお湯（水）を取り出して、雑用水として利用することができます。
- 飲用、調理用、および入浴用には、使用しないでください。
- 貯湯タンクからは、約120 Lのお湯（水）を取り出すことができます。
- お湯（水）は、非常時水取出し栓（図の a ）から取り出します。水道ホースなど、適当な太さの柔軟な管を用いると、取り出しが容易です。水抜き栓の先端の外径は約8 mmです。
- お湯（水）は、熱に強い容器で受けてください。

＊水道ホースや容器は、お客さまにてご用意ください（市販品で内径8 mmのものを推奨）。

お湯（水）の取り出し方

停電しているとき

下記の手順 5 以下を行います。

停電していないとき

手順 3 までを省略して、貯湯ユニットの電源を「切」にしても、お湯（水）を取り出すことはできますが、燃料電池ユニットの寿命を縮める場合があります。

1 「入」にする

給湯・ふろ 切/入

2 台所リモコンに、待機中（▬）または停止中（■↔■）の表示が出ていないときは、「発電切」にする
（P.48〜49）

3 表示が待機中（▬）に変わるまで待つ
（最長約90分間）

4 「切」にする

給湯・ふろ 切/入

5 貯湯ユニットの電源を「切」にする
（P.21）

6 貯湯ユニットのガス栓を閉める

7 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す
（P.22）

8 給水元バルブを閉める

9 排水バルブを開けて、すぐに元どおり閉じる

10 熱回収高温バルブおよび熱回収低温バルブを閉じる

11 お湯（水）を受けるため、熱に強い大きめの容器を置く

- 水道ホースなどがある場合は、一方の先端を入れてください。

12 エアチャージ栓を左に回して開く

13 水道ホースなどの先端を非常時水取出し栓にあてがう

- 水道ホースなどの適当なものがないときは、小さめの容器を非常時水取出し栓の手前に置いてください。

14 非常時水取出し栓を左に一回転して開く
→お湯（水）が出始めます。

（水道ホースなどを使う場合）

- 非常時水取出し栓を**一回転以上、回さないでください。**一回転以上、左に回すと、非常時水取出し栓の取り付け部からお湯（水）が出ます。
- お湯（水）が水道ホースなどの外に流れ出ないように、先端を押し付けてください。難しい場合は、手や身体にお湯（水）がかからないように保持してください。

（小さめの容器を使う場合）

- 出てくるお湯（水）を小さめの容器で受け、大きめの容器に移してください。

＊ 出てくるお湯（水）は、最初から高温であることや、途中から高温（最高約80℃）になることがあります。

⚠警告 お湯に触れない（やけどの原因）

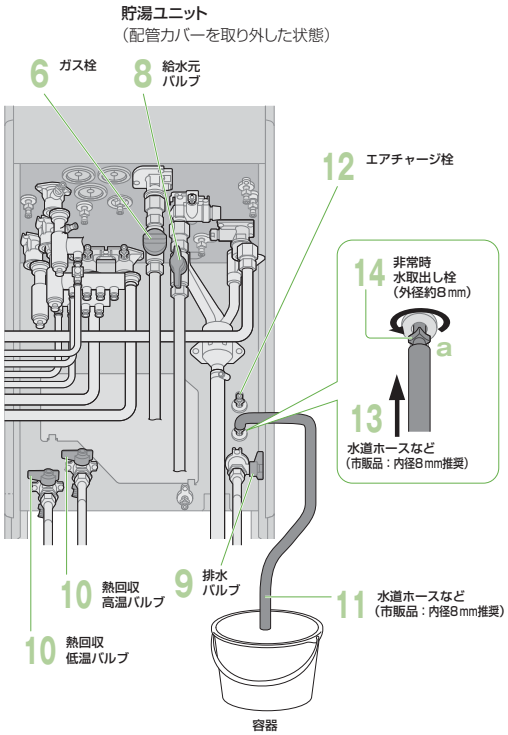
15 お湯（水）を止めるには、非常時水取出し栓を右に回して閉じてから、エアチャージ栓を右に回して閉める

- 取り出し可能な量（約120 L）を出し切るには、約160分間かかります。

停電時発電継続機能付きの燃料電池ユニットをご使用の場合は

- 停電時に発電を行っていない場合は、停電しているとき を実施してください。
- 停電時に発電を行っている場合は、停電していないとき を実施してください。

16 配管カバーを元どおり取り付ける



システムの使用を再開するとき

使用を再開するときは、貯湯ユニットの水抜き（P.80）と、機器の水はり（P.82〜83）を行ってください。
うまくいかない場合や、再使用できない場合は、お買い上げの販売店、またはガス事業者へご連絡ください。

故障かな?

●お問い合わせや修理をご依頼される前に、まずご確認ください。
接続する機器などについては、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

	こんなとき	原因と対処方法
燃料電池ユニット・貯湯ユニット本体	排気口から湯気が出る / 水がたれる	●排気ガス中の水蒸気が、結露するためです(冬期など)。 特に寒いときは、水蒸気が結露し、水がたれることがあります。
	表面が熱い	●運転時の内部の熱や日射などで、熱くなることがあります。
	音がする	●燃料電池ユニットの状態を正常に保つために、音がすることがあります。 ●起動時や停止時に、冷却用のファンが回り、キーンという音がします。 ●発電開始や停止時に、弁が開閉し、カチカチという音がします。 ●貯湯ユニットの状態を正常に保つために、待機中や給湯開始・停止時に音がすることがあります。
	予期せず動作する	●機器が最適な運転を判断して動作することがあります。 ●一定時間お湯を使用していないときに、水質維持のため沸き上げます。 動作状態表示のアイコンをリモコンに表示します(P.18)。 ●冬期に凍結を防止するためにポンプが動作します。 ●停電から復帰するための動作をします。
	貯湯タンクにお湯がたまらない	●発電は1日1回、かつ発電停止後、次の発電まで2時間以上あける必要があり、発電の時間帯によっては、タンクに十分なお湯がたまらない場合があります。 ●機器の保護動作のため、発電を停止することがあり、それによりお湯がたまらないことがあります(リモコンに「□保護動作中」を表示します)。 ●ご家庭の使用電力が小さいと発電電力も小さく、お湯がたまりにくいことがあります。 ●冬期など水温が低いときは、お湯がたまりにくいことがあります。
	水が青く見える / 浴槽や洗面台が青く変色した	●浴槽や洗面台が、水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、人体に害はありません。
発電	発電開始に時間がかかる	●発電を起動してから発電開始するまでに、約50分間かかります。
	「発電切」なのにすぐに発電が停止しない	●「発電切」を設定してから発電停止まで、約90分間かかります。
	発電予報どおりに発電しない	●発電予報は目安です。お湯の使用量や使用頻度が少ない場合などには、発電しないこともあります。

	こんなとき	原因と対処方法
発電	いつまでたっても発電しない	●お湯や電気の使用状況により、発電しないことがあります。 ●貯湯タンクが満タンの場合には、発電しません。 ●発電モード設定を「発電切」に設定していませんか? →「(自動発電)おまかせ」などを選んでください(P.48〜49)。 ●契約アンペア値が、実際の値より低めに設定されていませんか? →正しく設定してください(P.74〜75)。 ●保護動作による機器の判断で、発電しない場合があります(P.46)。 ●故障表示「73F3」が、リモコンに点滅表示していませんか? →発電モード設定(P.48〜49)と契約アンペア設定(P.74〜75)を再設定してください。
	発電電力が小さい	●最大 0.70 kW です。 ●長年のご使用で、発電電力が低下することがあります。 ●使用電力の急な変化など、発電電力が一時的に小さくなることがあります。
	発電が一時停止する	●機器が判断して、発電を一時停止することがありますが、故障ではありません(この場合のみ、発電は1日1回となりません)。
	発電時間が短い	●自動発電は省エネになるように、発電時間を決めています。 ●夏期など水温が高い場合や、お湯の使用量が少ない場合は、発電時間は短くなります。
停電時発電継続機能	停電時に発電しない	●以下の場合、発電しません。 ・停電発生時に発電していなかった場合 ・停電発電モード設定を「切」にしていた場合 ・停電直前に、エネファームの保護動作がはたらいていた場合 →停電が復旧するのをお待ちください。
		●停電直前に、発電に関する故障表示が出ているときは、発電できません。
		●発電を連続4日間行った場合には、発電を停止します(停電復旧後は、元の発電モードで発電を開始します)。
		●断水やガス供給停止の場合、停電時に使用できません。
	停電時に発電が停止した	●浴室排水設定が「切」の場合、貯湯タンクが満タンになると、発電を停止します。 →停電が復旧するのをお待ちください。
		●貯湯タンクからのお湯の使用が、100時間で一度もなかった場合には、貯湯タンクからの出湯(給湯・シャワー・ふろ・浴室排水など)を停止し、貯湯タンクが満タンになると、発電を停止します。
		●停電発電中に一時停止すると、その後、停電中は発電することができません。

故障かな？（つづき）

こんなとき	原因と対処方法
停電時発電継続機能	
電気機器が一時的に使用できない	● 使用電力が発電電力を上回ると、リモコンの「発電電力」の表示が0.00 kWになります。停電直後は、停電前の発電電力となり、徐々に最大電力まで上げていきます（0.20 kWから0.50 kWまで上げるのに、約10分間かかります）。 →ご使用の電力を減らして、発電電力以下となるように調整してください。
	● 燃料電池ユニットと貯湯ユニットが凍結予防動作を行うと、凍結予防動作のために電力を使用し、お客さまの使用電力との合計が発電電力を超えると、一時的（約15秒間）に使用できなくなることがあります。 →ご使用の電力を減らして、発電電力以下となるように調整してください。
	● 特殊な制御方式を使った電気機器※1（ヘアードライヤーや掃除機など）を使用した場合は、一時的に使用できなくなることがあります。 ※1 半波整流や位相制御を行う電気機器
リモコンの操作ができない	● 停電したときに、停電発電モード設定が「切」のときや、発電中以外のときは、発電を行わないので、リモコンの操作はできません。 →停電が復旧するのをお待ちください。
使用している電力よりも多く表示される	● リモコンの表示電力は参考です。
	● 停電時の発電電力は、貯湯ユニットにも使用します（最大約0.3 kW。さらに冬期などの寒い日は、停電発電中にも燃料電池ユニットと貯湯ユニットは凍結予防動作を行う場合があり、凍結予防動作によって電気機器の使用電力よりも多く表示することがあります）。
照明がちらつく	● 使用状況によって起こることがありますが、異常ではありません。停電復旧後もちらつく場合は、照明器具が正常であるかご確認ください。
エネファームが0.70 kWまで発電できるはずなのに、0.50 kWまでしか使えない	● エネファームの発電電力は0.70 kWですが、停電時の使用電力は、システム制約により、最大0.50 kW※2となります（貯湯ユニットに供給する電力も含みます）。 ※2 力率（交流電力の効率）1.0の電気機器の場合では、最大0.50 kVAとなります。
給湯・シャワー	
給湯栓を開いても、お湯が出ない	● ガス栓・給水元バルブが、全開になっていますか？（P.16） ● 断水していませんか？ ● 給湯栓が十分開いていますか？ ● マイコンメーターが、ガスを遮断していませんか？ ● 給水接続口の水抜き栓のフィルターに、ゴミなどが詰まっていませんか？（P.77） ● 凍結していませんか？ 解凍するのを待ち、給湯を使用してください。使用再開後、水漏れなど異常がある場合や、『凍結を防ぐ』操作（P.79）を正しく行っても繰り返し凍結する場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。 ● 給湯・ふろスイッチが、「切」になっていませんか？

こんなとき	原因と対処方法
給湯・シャワー	
給湯栓を開いても、お湯がすぐに出ない	● 貯湯ユニットから給湯栓までの距離が長いと、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元バルブが、全開になっていますか？（P.16） ● 給湯温度の設定は適切ですか？（P.24～25） ● 低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなったり、湯温が安定しないことがあります。 →給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 ● 夏期など水温が高いときには、設定温度より熱いお湯が出ることがありますが、異常ではありません。
高温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元バルブが、全開になっていますか？（P.16） ● 給湯温度の設定は適切ですか？（P.24～25） ● 冬期など配管の温度が低いときには、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 →お湯の量が少ないときや、多いときに、高温のお湯が出ない場合があるため、給湯栓で使うお湯の量を調整してください。 ● 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んで、お湯がぬるくなることがあります。 ● お湯はり、たし湯中にお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。 ● お湯はり、たし湯が終わっても、一度お湯の使用をやめるまで、やけど予防のため、ふろ設定温度のお湯が出ます。高温のお湯は出ません（リモコン表示はそのままです。〈例：給湯温度の設定60 ℃→お湯の温度40 ℃〉）。 ● はじめてお使いになる場合や、電源を切った後の再使用時、または停電後にはじめてお使いになる場合は、安全性を保つため、高温のお湯が出にくい場合があります。いったんすべての給湯栓を閉めて、再び開いてください。
給湯栓を絞ると水になった	● この機器は、通水量が毎分約3.5 L以下になると、水になります。 →給湯栓をもっと開いて、お湯の量を多くすれば、お湯が出ます。
給湯温度が調節できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか？（P.25）
お湯が白く濁って見える	● 水中の空気が熱せられ、泡となって出てくる現象で無害です。
貯湯タンクにお湯があるのにお湯を使用したときに、バックアップ熱源機が燃焼動作する	● 下記のような場合には、リモコンに貯湯タンクの残湯量表示があっても、お湯を使用したときに、バックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。 ・貯湯タンクの湯温が低い場合 ・一定時間お湯を使用しなかった場合 ・水質維持のための沸き上げ中に、給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合
お湯やシャワーを使っていないのに、バックアップ熱源機が燃焼動作する	● 凍結予防動作中などに、バックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。

故障かな？（つづき）

	こんなとき	原因と対処方法
給湯・シャワー	お湯の出が弱い	● 本システムは、貯湯タンクにお湯をためる方式のため、水道直圧式の給湯機器よりも、お湯の出が弱くなることがあります。 ● 給水元圧が低い場合や、給水給湯配管の口径や長さにより、お湯の出が弱くなることがあります。 →お湯の出が弱いと感じる場合には、以下の方法をおすすめします。 ・低圧損水栓や節水タイプのシャワーヘッドを使用する ・リモコンで給湯設定温度を上げ、水を混ぜる割合を増やして使用する（P.24）
	お湯も水も出ない	● 給水元バルブが全開になっていますか？（P.16） ● 断水していませんか？
	給湯栓からのお湯の量が変化する	● お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、お湯が出なくなる場合もあります。 →しばらくすると安定します。 ● 給湯栓の種類によっては、初め多く出て、その後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。 ● お湯はり中に、給湯やシャワーを使うと、浴槽へのお湯はりが一時停止することがあります。この場合、給湯栓やシャワーから出るお湯の量が少ないと、その温度はふろ設定温度になることがあります。また、給水温度や給水圧などの条件によっては、給湯栓やシャワーからお湯が少ししか出ないことや、全く出ないことがあります。異常ではありません。
	給湯栓から出るお湯の量が少ない	● 貯湯タンクのお湯がなくなったときに、暖房・追いだき（または、ふろ自動）と同時にお湯を使うと、出湯量が少なくなることがあります。異常ではありません。 ● 水質維持のための沸き上げ中（P.46）は、出湯量が少なくなることがあります。お湯はりと同時の場合は、特に流量が少なくなりますが、異常ではありません。
おふろ	設定したふろ温度にならない（ぬるい / 熱い）	● 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.78） ● お湯はり中に、ふろ温度を低く設定し直すと、沸き上がり温度が設定温度より高くなることがあります。 ● ふろ設定温度は適切ですか？
	設定したふろ湯量にならない	● 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.78） ● ふろ湯量（ふろ水位）の設定は適切ですか？（P.29） ● おふろの排水栓は、しっかり閉めていますか？ ● 浴槽によっては、高い水位（多い湯量）に設定すると、お湯があふれることがあります。 ● 沸き上がる前に、ふろ自動スイッチの「切」「入」を繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ● 残り湯が、循環アダプターより下にある状態でふろ自動運転すると、ふろ湯量を少なく設定した場合には、水位が設定よりも高くなることがあります。
	濁ったお湯が出る	● ふろ配管洗浄をしていない場合、ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が混入して濁ったお湯が出ます。特に入浴剤をご使用の場合、にごりが目立つことがあります。

	こんなとき	原因と対処方法
おふろ	追いだきができない / 途中で停止する	● 浴槽の循環アダプター上部より5 cm 以上、お湯（水）が入っていますか？ ● 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.78） ● 断水していませんか？
	循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	● ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくして、循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。 ● お湯はり中に給湯やシャワーを使うと、浴槽へのお湯はりが一時停止することがあります。
	ふろ配管自動洗浄ができない	● 次のような場合は、ふろ配管自動洗浄は、はたらきません。 ・給湯・ふろスイッチ「切」の場合 ・ふろ自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・追いだき運転で水からおふろを沸かした場合 ● 停電中ではありませんか？（停電後は、ふろ配管自動洗浄は、はたらきません） ● 「ふろ配管自動洗浄設定」が「しない」になっていませんか？（P.70～71）
	循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がする	● 追いだき配管などに、たまった空気が出る音で、異常ではありません。
	浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する	● 貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・暖房と同時に追いだき（または、ふろ自動）して能力が下がった場合に、起こる現象です。
	ふろ自動運転のお湯はり完了まで通常より時間がかかる	● ふろ自動運転中に、お湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯はりに時間がかかります。 ● 貯湯タンクのお湯がなくなったときに、給湯・暖房と同時に追いだき（または、ふろ自動）すると、追いだき時間が長くなることがあります。 ● 水質維持のための沸き上げ中（P.46）は、お湯はりの時間が長くなることがあります。
	ふろ自動運転の途中で燃焼を中断する	● 浴槽に正確にお湯はりをするために、間欠運転を行っています（はじめてお使いになるときは、ふろ自動運転の水位を確認するため間欠運転を行います）。
	循環アダプターから泡が出る	● ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水中など、泡が出ることがありますが、異常ではありません。
	入浴中にお湯があふれる たし湯・たし水中にお湯があふれる	● 浴槽の水位設定が高い場合には、お湯があふれることがあります。
	お湯はりの始めに水が出る	● 水温が高いときや、ふろ温度の設定が低いときは、水が出ることがあります。
	おふろを使っていないのにお湯（水）が出る	● 凍結予防動作中などに、ポンプが作動し、配管の残水が循環アダプターから出る場合があります。 ● 浴槽のお湯（水）を排水中、ふろ配管自動洗浄がはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。

故障かな？（つづき）

	こんなとき	原因と対処方法
おふろ	たし水なのにお湯が出る	● 給湯、お湯はり、たし湯の後にたし水を行うと、配管内に残ったお湯がでることがあります。
	運転終了後もしばらくポンプが回る	● ふろ自動運転、追いだき運転終了後も、浴槽のお湯のかくはんのため、ポンプがしばらく回ります。
	保温中に、ときどきポンプが回る	● 浴槽のお湯の温度を検知するため、ときどきポンプが回ります。
	予約運転でおふろを沸かしたとき、予約時刻になっても、おふろが沸きあがらない	● 次のような場合、予約時刻になっても、おふろが沸きあがらないことがあります。 ・お湯はりが始まった後で、給湯やシャワーを使用した場合 ・冬期に、ふろ設定温度を高くした場合 ・予約時刻を現在時刻の60分以内にした場合 ・給水圧、給水温度が低い場合 ・ふろ設定水位（湯量）が高い（多い）場合 ・残り湯がある場合 ・浴槽が大きい場合 ● 予約運転中でも、現在時刻の変更ができますが、現在時刻を変更することで、予約時刻に沸き上がらなかったり、自動湯はりが始まってしまうことがあります。
	予約運転をしているはずなのに、お湯はりが始まらない	● 予約運転は、1回の操作で1回だけお湯はりします。毎日同じ時刻に、予約運転でお湯はりをしたい場合は、毎日、予約の操作を行ってください。
リモコン（表示）	電源投入後、貯湯タンクの残湯量表示がすぐに正しく表示されない	● 電源を「入」にすると、段階的に表示し、正しく表示するまでに約 15 秒間かかります。
	給湯・ふろランプが点灯しない	● 停電していませんか？ ● 一度、燃料電池ユニットの電源プラグ（ブレーカーの場合もあります）を抜き差ししてから、操作してください（P.21）。
	表示が自動消灯しない	●「表示節電設定」で表示の自動消灯が、「切」になっていませんか？（P.72〜73） ● 給湯温度設定が、50℃、55℃、60℃のときは、自動消灯しません。 ● ふろ自動ランプ点灯中は、自動消灯しません。
	画面表示が消えている / エネルックデータが部分的に消えている	● お湯やリモコンを使っていないときは、約30分後に表示が消灯します。 →お湯を使ったり、スイッチを押すと再表示されます。 ● 落雷などにより、一時的に消灯したり、停電中のデータが表示されないことがあります。
	勝手に点灯する	● ふろ配管自動洗浄や凍結予防動作中は、点灯して案内表示が出ます。
	お湯を使用していないのに、燃焼表示が点灯する	● 凍結予防動作中などに、貯湯ユニットが燃焼動作することがあります。

	こんなとき	原因と対処方法
リモコン（表示）	貯湯タンクにお湯がたまっているのに、お湯を使用したときに燃焼表示が点灯する	● 下記のような場合には、リモコンに貯湯タンクの残湯量表示があっても、お湯を使用したときに、バックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。 ・貯湯タンクの湯温が低い場合 ・一定時間お湯を使用しなかった場合、水質維持のための沸き上げ中に、給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合
	浴室暖房の設定画面を表示しない	● 電源投入後、約15分間表示されないことがあります。
	スイッチを押しても動作をしない	● 表示節電中は2回押さないと、動作しないスイッチがあります（P.72〜73）。
	操作できない	● 誤操作防止のロックが、かかっていませんか？（P.25）
	発電電力が0.20 kW 未満となる	● 家庭の消費電力が0.20 kW未満のときでも、エネファームが発電する場合、エネファームは0.20 kW以上の電力を発電しますが、リモコンは発電電力を、家庭の消費電力に合わせて0.20 kW未満で表示します（余剰分の電力は、お湯をつくるために使います）。
	購入電力が0.00 kW なのに、電力メーターが動く	● 実際の購入電力が0.05 kW未満のとき、リモコンの購入電力は0.00 kWと表示するため、購入電力が0.00 kWと表示されても、電力メーターが動くことがあります。 ● エネファームが発電中で、購入電力の表示が0.00 kWとなっている場合でも、逆潮流（エネファームで発電した電力が、電力会社の系統電力に流れ出ること）を防ぐために、わずかな電力を購入しているため、電力メーターは動きます。
	「浄化動作中です。」が点滅表示する	● エネファーム内部の水を浄化しており、故障ではありません。水はり後やメンテナンス後に表示することがあります。 →表示が消えるまでお待ちください（最長3時間）。
	太陽光発電の表示が正しくない	● 太陽光発電の発電電力や時間などが、太陽光発電のリモコンなどと大きくずれて表示することがありますが、計測方法が異なるためであり故障ではありません。
	表示のタイミングがずれている	● お湯を使い終わった直後でも、燃焼表示や貯湯タンクからの出湯表示を数秒間表示したりすることなどがありますが、故障ではありません。

故障かな？（つづき）

こんなとき	原因と対処方法
リモコン（通話音声）	
通話が途切れる／通話ができない	●マイクに水滴がついていませんか？（ハウリングする可能性があります） →水滴を取り除いてください。 ●リモコンから15 cm以内に物を置いていませんか？ →物を取り除いてください。 ●機器の設置状況や、使用環境などによって、起こることがありますが故障ではありません。
相手の声は聞こえるが返答がない／声が聞こえにくい／声が途切れて聞こえる	●先に話した方が優先されます。 →「送話」(P.34)を使えば、こちらが優先になります。 ●シャワーを止める、テレビの音量を下げる。またはリモコンに近づいて話してください。 ●リモコンに近づいて話をしたり、もう少し大きな声で話をしてください。または、送話(P.34)をご使用ください。
変な音がする	●台所リモコンと浴室リモコンが近い場合、キーンという音（ハウリング音）がすることがあります。 →音量、浴室モニター音量を下げる。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。 ●本体とリモコンの通信中に、「ブッ」という音がすることがあります。
	●通話中にドアホンを利用すると、ノイズが入ることがあります。
	●通話中に浴室リモコンのボタンを押すと、台所リモコンでパチッという音がすることがありますが、異常ではありません。
浴室の音楽などが、台所リモコンで途切れて聞こえる	●シャワーの音や、浴室のラジオ・音楽の音などを小さくすることで、人の声を聞きやすくするしくみになっています。 ●ノイズが入ることがありますが、故障ではありません。
通話中、ラジオ放送が聞こえる	●ラジオの送信所が、数km以内にある場合に、起こることがあります。
音声案内をしない	●通話中は音声案内をしません。 →通話を終了してください。 ●「音声案内」設定を「切」にしていませんか？(P.72〜73) →「音声とメロディーで案内」を選んでください。
音声が小さくなった（浴室リモコン）	●「案内音量」が低く設定されていませんか？ ●スピーカー部に水がたまっていませんか？ →水をふき取ってください。
音が割れて聞こえる	●リモコンに近づきすぎて話をしていたり、声が大きすぎると音が割れて聞こえる場合があります。 →もう少しリモコンから離れて話をする、またはもう少し声を小さくして話をしてください。

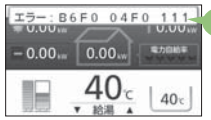
こんなとき	原因と対処方法
暖房	
暖房運転中、暖房放熱器が止まったり、温度が下がったりする	●異常ではありません。給湯や追いだきと同時に使用すると、暖房能力が下がることがあります。 →暖房放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
床面がなかなかあたたまらない	●異常ではありません。床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります（目安1時間程度）。 ●貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と、同時に暖房して能力が下がった場合に起こる現象です。いずれかの使用をやめると改善します。
床面の暖かさが場所によって異なる	●異常ではありません。温水配管内に温水を循環させて、床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと、通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。
床暖房の温度変更をしていないのに、床面の温度が下がった	●異常ではありません。床暖房を始めたときは、早く床をあたためるために、高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。 ●貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と、同時に暖房して能力が下がった場合に起こる現象です。いずれかの使用をやめると改善します。
床暖房中に音がする	●異常ではありません。床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するために発生する音、または温水の流れる音です。
床暖房を使用していないのに、床があたたまることがある	●異常ではありません。床暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末（浴室暖房など）を使用していると、床の温度が一時的に多少上昇する可能性があります。
床面の足ざわりが場所によって異なる	●異常ではありません。温水配管やその他の接合部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
床面に凹凸や段差がある	●異常ではありません。温水暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周囲の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。
床面の継ぎ目にすき間がある	●異常ではありません。暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。
床面が変色した	●床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。 →カーテンやブラインドで日差しをさえぎってください。

故障かな？（つづき）

	こんなとき	原因と対処方法
暖房	浴室暖房乾燥機の温風温度やミストサウナのミスト温度が変化したり低くなったりする 浴室暖房やミストサウナ運転をしても浴室がなかなか暖まらない ミストサウナのミスト温度がなかなか暖かくならない	● 貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と、同時に暖房して能力が下がった場合に起こる現象です。いずれかの使用をやめると改善します。
マイクロバブル浴（温浴）	気泡が出ない	● 循環アダプターのバブル切替レバーが「normal」（左）側になっていませんか？ →バブル切替レバーを「bubble」（右）側に切り替えてください。 ● 冬期など、循環アダプターの吸気配管の内部に残った水が凍結した場合は、気泡が出なくなります。 →気温の上昇により、自然に解凍するのを待つか、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へ相談してください。 ● 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？ →循環アダプターの掃除をしてください。 ● 断水していませんか？ →復旧を待ってください。
	気泡が見えない／出ているのかどうか分からない	● 異常ではありません。マイクロバブルは微細なため、見えにくくなっています。
	いつもより気泡が少ない	● 浴槽のお湯が多いと、気泡が少なく、見えにくくなることがありますが、異常ではありません。いつもと同じお湯の量でも気泡が少ない場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へ連絡してください。
	「温浴」を開始しても、すぐに気泡が出ない	● 異常ではありません。追いだき直後や、しばらくマイクロバブル浴をしなかった後、「温浴」を開始すると、気泡が出るのが少し後れることがあります。
	マイクロバブル浴の開始時に冷たく感じる／マイクロバブル浴をしたら、浴槽のお湯が少し冷めた	● マイクロバブル浴の開始時に、ふろ配管内にたまったお湯（水）を浴槽に排出します。そのため、このお湯（水）が冷たいと感じたり、お湯が少し冷めることがありますが、異常ではありません（排出するお湯（水）の量は、配管の長さにより異なります）。 →マイクロバブル浴をする前に追いだきするか、「温浴」を開始して、しばらくしてからお湯に入ってください。
	「温浴」を停止しても、すぐに止まらない	● 異常ではありません。「温浴」を停止した後、約50秒間ポンプが作動する場合があります。

	こんなとき	原因と対処方法
マイクロバブル浴（温浴）	「温浴」を開始していないのに、気泡が出る	● 循環アダプターのバブル切替レバーが「bubble」（右）側になっているときに、ふろ自動運転をすると、気泡が出ます。凍結予防のためにポンプが作動したときも気泡が出ます。 →マイクロバブル浴をしないときは、バブル切替レバーを「normal」（左）側に切り替えてください。
	おふろ沸かしや追いだきに時間がかかる	● 循環アダプターのバブル切替レバーが「bubble」（右）側になっているときに、ふろ自動や追いだきをすると、時間がかかります。 →マイクロバブル浴をしないときは、バブル切替レバーを「normal」（左）側に切り替えてください。
	水から沸かしなおすと、浴槽のお湯の上下で温度差がある	● 「温浴」を開始して、気泡の出かたを確認してください。P.33を参照して、気泡がほとんど出なかったり、フィルターの横から出ている場合は、ふろ配管の接続に問題がある可能性があります。 →お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へ連絡してください。
	追いだきすると、設定したふろ温度にならない	● バブル切替レバーを「bubble」（右）側にして、追いだきすると、お湯が正常に循環しないため、設定温度まで沸き上がらないことがあります。 →バブル切替レバーを「normal」（左）側に切り替えてから、追いだきを行ってください。 ● 「温浴」を開始して、気泡の出かたを確認してください。P.33を参照して、気泡がほとんど出なかったり、フィルターの横から出ている場合は、ふろ配管の接続に問題がある可能性があります。 →お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へ連絡してください。
	ふろ自動のとき、循環アダプターからいつもと違う音がする	● バブル切替レバーを「bubble」（右）側にして、ふろ自動運転をすると、気泡吹き出し口からお湯が出て、「シュー」「ブジュブジュ」などの音がします。 →バブル切替レバーを「normal」（左）側に切り替えてから、ふろ自動を行ってください。
	マイクロバブル浴のとき、シューと音が聞こえる	● 異常ではありません。マイクロバブルを発生させるための、空気を取り込む装置が設置されています。その装置が浴室内に設置されている場合、空気を取り込む音が聞こえます。

こんな表示が出たら



点滅

- 不具合の場合は、左のように故障表示が点滅します。下表の処置を行ってください。
- 故障表示は複数個表示することがあります。

	故障表示	原因	処置
貯湯ユニット	002	初めてふろ自動をするとき、浴槽に試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えますので、次回ふろ自動をするとき、浴槽内に残り湯がない状態で行ってください（それ以降は残り湯があっても、ふろ自動ができます）。
	011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、給湯・ふろスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
	012	追いだきを連続90分以上運転したため	給湯・ふろスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受けてください。
	032	浴槽の排水栓の閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉め、再操作をして表示が出なければ正常です。
	110	バックアップ熱源機の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いていること、ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していないかを確認して、問題があれば処置してください。その後、給湯栓を開いて燃焼表示が出れば正常です。
	260	断水などで水が通っていないため	給水元バルブが開いているか、断水していないか（水栓から水が出るか）を確認し、いったん給湯・ふろスイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
	562	断水などで水が通っていないため（ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水のとき）	
	632	おふろの追いだきのとき、浴槽のお湯（水）が足りないため	給湯・ふろスイッチをいったん「切」にして、再度「入」にし、浴槽のお湯（水）を循環アダプターの上部より5 cm以上水を入れてから、おふろの追いだきをしてください。
		循環アダプターのフィルター詰まり、または、フィルターが正常に取り付けられていないため	循環アダプターのフィルターが詰まっていないか、フィルターが正常に取り付けられているかを確認して、給湯・ふろスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
	769	燃料電池ユニット・貯湯ユニット間の通信に不具合が発生したため	貯湯ユニットの電源が切れていないか確認してください（P.21）。 →「切」の場合、「入」にしてください。 →「入」の場合、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。
	E00	【電力測定ユニットがある場合】停電して、電力測定ユニットに電気が供給されていないため	そのままでも機器は使用できます。停電が復旧すると、故障表示は消えます。

■ 以下の場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。

	故障表示	原因	処置
貯湯ユニット	009	水抜き後に、機器の水はりをせずに使用したため	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。
	100	給排気に異常が生じたため、安全のために能力を低下させたため	能力低下の状態で使用できますが、安全のため、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。
	900 990	本体の燃焼に異常が生じたため	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。

- P.100に記載以外の故障表示が出たとき
- P.100に記載した処置をしても、故障表示が繰り返し出るとき
- その他、分からないとき

こんな表示が出たら（つづき）

	故障表示	原因	処置
燃料電池ユニット	02F0 02F1 02F2	水はり忘れ、水抜き栓の閉め忘れ、または水抜き栓の開け忘れ	①給湯･ふろスイッチを「入」「切」する ②P.81の手順5、またはP.82～83の操作を行う
		水はりが完了していない状態で「発電切」以外の発電モードを選択した	①「発電切」を選ぶ ②貯湯ユニットおよび燃料電池ユニットの水はりを完了する（P.82～83） ③「発電切」以外の発電モードを選ぶ（P.48～49）
	A8F0	燃料電池ユニットのガス栓が閉まっている（地震でマイコンメーターがガス遮断している場合あり） →ガス遮断の場合は、復旧するまで、給湯･ふろスイッチを操作しないでください。	①ガス栓を開ける（マイコンメーターのガス遮断解除方法は、マイコンメーターの取扱説明書に従ってください） ②給湯･ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから再度「入」にする
	73F3	停電時に一時的に通信異常が生じた	①給湯･ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから再度「入」にする ②発電モード設定（P.48～49）と契約アンペア設定（P.74～75）を再設定する
	1桁目～3桁目がC0Fの場合 C0F○ 1桁目と3桁目にFがつく場合 F○F○	電源（周波数･電圧など）の異常が生じた	給湯･ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから再度「入」にする。それでも故障表示が消えない場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください（燃料電池ユニットの点検が必要）。
	その他、表示の下2桁目にFがつく場合 ○○ F ○	燃料電池ユニットに一時的な不具合が生じた	
	その他表示	原因	処置
	01F0	マイコンメーター機能確認中（P.46）に給湯や床暖房を長時間ご使用されたため	お使いのガス機器の使用を1時間お控えいただいた後、給湯･ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから、再度「入」にする。表示が消えない場合は、ガス機器の使用をさらに1時間以上お控えいただいた後、同じ操作を行ってください。
	点検表示	原因	処置
	※（04F0） （D0F0）	定期メンテナンス時期のお知らせ	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。→P.76
	05F0 D1F0	定期メンテナンスが必要	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。→P.76 （燃料電池ユニットは停止しています）
	※（06F0）	総点検時期のお知らせ	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。
	07F0	総点検未実施による停止	
	※（08F0）	動作停止時期のお知らせ	
	09F0	動作停止しました	

・上記表示と同時にhまたはJが表示する場合は、表示内容を、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者に、ご連絡ください。

※ 確定 を押すと表示されます。

■以下の場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。

- P.100～102に記載以外の故障表示が出て、給湯･ふろスイッチを「切」「入」しても故障表示が消えないとき
- P.100～102に記載した処置をしても、故障表示が繰り返し出るとき
- その他、分からないとき

主な仕様

共通仕様

ガスの種類	都市ガス用　13 A
減圧弁設定圧力	370 kPa

燃料電池ユニット

		停電時発電継続機能付き	停電時発電継続機能なし
品名		NA-0715ARS-KB NA-0715ARS-KTB	NA-0715ARS-K NA-0715ARS-KT
形式		FC-70ER13	FC-70ER23
設置方式		屋外基礎据付（M10アンカーボルト4個）	
排気方式		強制排気方式	
外形寸法(mm)		高さ1750×幅400×奥行400	
質量	乾燥質量(kg)	77	
	運転質量(kg)	82	
電源種別		単相3線式　AC100 V / 200 V 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	最大時(W)	500	
	凍結予防動作時(W)	680	
	無負荷（待機）時(W)	17	
ガス消費量	定格発電時(kW)	1.8（LHV）　2.0（HHV）	
騒音値	定格発電時(dB(A))	38	
電気出力	定格出力(W)	700	
	出力範囲(W)	200～700	
熱出力	熱回収温度(℃)	60～80（安定時）	
	定格発電時出力(W)	1010	
	出力範囲(W)	210～1010	
効率	発電効率（定格時）	39.0 % LHV　35.2 % HHV	
	熱回収効率（定格時）	56.0 % LHV　50.6 % HHV	
安全装置		可燃ガスセンサー、立消え安全装置、過熱防止安全装置、過圧防止安全装置、停電時安全装置、余剰電力ヒーター過熱防止安全装置、ファン回転検知装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置	

・本仕様は、改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・ガスはJIS に規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様（つづき）

貯湯ユニット

■仕様表

品名		NAFT-C15ARSAWC
型式		SF-GTHC2404AD
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋外設置形（M10アンカーボルト4個）
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧（MPa）	0.10～0.75（1.0～7.5 kgf/cm^2） <推奨水圧 約0.2～0.5（約2.0～5.0 kgf/cm^2）>
	作動水圧（MPa）	0.01（0.1 kgf/cm^2）
最低作動流量（L/分）		3.5
外形寸法（mm）		高さ1750 × 幅700 × 奥行400
質量（本体）（kg）		88
タンク容量（L）		140
接続口径	ふろ（往き・戻り）	CCHM（QF16）ジョイント
	暖房（往き・戻り）	CCHM（QF16）ジョイント
	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	ガス	R1/2
	オーバーフロー	VP13
	排熱（高温・低温）	R1/2
	排水	R1/2
電気関係	電源	AC100 V（50/60 Hz）
	消費電力（50 Hz/60 Hz）（W）	310/310
		凍結予防ヒーター 119
	待機時消費電力（W）	1.8
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、過電流防止装置、熱交換器漏水安全装置、立消え安全装置、空だき防止装置、負圧防止安全装置、過熱防止装置、ファン回転検出装置、断水検出装置、ポンプ回転検出装置、停電時高温出湯回避装置、残火安全装置、逆流防止装置、中和器詰まり検出装置、高温出湯防止装置

■能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量（最大消費量）（kW）	出湯能力（最大時）（L/分）	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用　13 A	44.1	24	15

・本仕様は、改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・ガスはJIS に規定する標準ガス、標準圧力での値です。

アフターサービス

サービスを依頼される場合

故障かな?と思ったらP.88～99を、画面に「故障表示」が出たら、P.100～102を参照し、適切な処置を行ってください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名・品番（ユニットの銘板に記載しています）
- 異常の状況（故障表示など、できるだけ詳しく）
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

転居・移設される場合

・お客さまのご使用状況に関するデータ（エネルックデータ）が、機器に残っていますので、必要に応じて、転居前に「グラフ、データ初期化」（P.66～67）および「学習リセット」（P.74～75）で削除してください。
・転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧・周波数）が移設先と合っているかをご確認いただき、必ずお買い上げの販売店、メンテナンス店、または転居元のガス事業者にご相談ください。ガスの種類の異なる地域へは移設できません。

用語検索

あ

温浴（マイクロバブル浴）…… 32

か

学習機能…… 47
故障表示…… 100

さ

静音運転（暖房）…… 39
送　話…… 34

た

停電時専用コンセント…… 55
停電時発電継続機能…… 52

は

発電制限…… 46
ふろ自動…… 26
ふろ自動連動…… 27
ふろ配管自動洗浄…… 70
ふろ予報…… 64
保護動作…… 46

ま

マイクロバブル…… 33
マイクロバブル（温浴）…… 32
マイコンメーター機能確認…… 46
満タン停止抑制…… 74

や

浴室排水…… 56
予測機能…… 47

ら

リモコンロック…… 25

メモ

取扱説明書	NA-0715ARS-KB/ NA-0715ARS-KTB NA-0715ARS-K/ NA-0715ARS-KT NAFT-C15ARSAWC				01

東京ガス株式会社
〒105-8527 東京都港区海岸１丁目５番20号

201502